ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

政府統計

【照会先】
政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室
統計管理官　仲津留　隆（内線 7461）
室 長 補 佐　中川　匡弘（内線 7475）
担　当　係　月報調整係（内線 7476）
（代表電話）03-5253-1111
（直通電話）03-3595-2813

令和２年(2020)
人口動態統計月報年計(概数) の概況

目　　次

頁

調査の概要 …… 1

結果の概要

１　結果の要約 …… 2

２　出生

（１）出生数 …… 4
（２）合計特殊出生率 …… 6

３　死亡

（１）死亡数・死亡率 …… 8
（２）死因 …… 10

４　婚姻 …… 14

５　離婚 …… 16

統計表

第１表　人口動態総覧の年次推移 …… 20
第２表　人口動態総覧（率）の年次推移 …… 24
第３表　出生数の年次推移，母の年齢（５歳階級）別 …… 28
第４表　出生数の年次推移，出生順位別 …… 28
第５表　死亡率（人口 10 万対）の年次推移，性・年齢（５歳階級）別 …… 29
第６表　死亡数・死亡率（人口 10 万対），死因簡単分類別 …… 32
第７表　死亡数・死亡率（人口 10 万対），性・年齢（５歳階級）・死因順位別 …… 36
第８表　人口動態総覧，都道府県（特別区－指定都市再掲）別 …… 42
第９表　人口動態総覧（率），都道府県（特別区－指定都市再掲）別 …… 44
第10表　主な死因の死亡数・死亡率（人口10万対），都道府県（特別区－指定都市再掲）別 …… 46

参　考

１　合計特殊出生率について …… 48
２　人口動態総覧（率）の国際比較 …… 50
３　諸率の算出に用いた人口 …… 50

この資料は、厚生労働省のホームページに掲載しています。
（掲載場所 URL）　https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai20/index.html

調 査 の 概 要

1　調査の目的　　人口動態調査は、我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2　調査の対象及び客体

「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では昨年１年間に日本において発生した日本人の事象を客体とした。

3　調査の期間　　令和２年１月１日～令和２年12月31日

4　調査の方法　　市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。

5　報告の系統　　市区町村 ― 保健所 ― 都道府県 ― 厚生労働省

保健所を設置する市・特別区 ― 都道府県

6　結果の集計　　集計は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策担当）で行った。

※人口動態調査は、統計法に基づく基幹統計「人口動態統計」を作成するための統計調査である。

＜利用上の注意＞

1　公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

人口動態統計速報	人口動態統計月報	人口動態統計年報
数値：調査票を作成した数	数値：概数	数値：確定数 （概数に修正を加えたもの）
集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人 （いずれも前年以前発生のものを含む）	集計客体：日本における日本人 （前年以前発生のものを除く）	集計客体：日本における日本人 （日本における外国人、外国における日本人及び前年以前発生のものは別掲）
公表：毎月 （調査月の約２か月後）	公表：毎月 （調査月の約５か月後） ※：毎年（年間合計） （調査年の翌年６月上旬）	公表：毎年 （調査年の翌年９月）

※本概況は中央の破線の部分である。

2　表章記号の規約

計数のない場合	－
統計項目のあり得ない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
比率が微小（0.05未満）の場合	0.0
減少数（率）の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

3　用語の説明

自然増減：出生数から死亡数を減じたもの
乳児死亡：生後１年未満の死亡
新生児死亡：生後４週未満の死亡
早期新生児死亡：生後１週未満の死亡
死産：妊娠満12週以後の死児の出産
周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの
合計特殊出生率（期間合計特殊出生率）：その年次の15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、１人の女性がその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。（実際に１人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。）

4　本概況で使用した数値は、令和元年以前は確定数である。

5　昭和47年以前は沖縄県を含まない数値である。昭和19～21年は、戦災による資料喪失等資料不備のため省略した。

6　都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

7　諸率の算出に用いた人口は、50～52頁を参照。

結 果 の 概 要

1　結果の要約

（1） 出生数は減少

出生数は 84 万 832 人で、前年の 86 万 5239 人より 2 万 4407 人減少し、出生率（人口千対）は 6.8 で、前年の 7.0 より低下している。

出生数を母の年齢（５歳階級）別にみると、45 歳以上で前年より増加し、44 歳以下の各階級では減少している。

また、合計特殊出生率 は 1.34 で、前年の 1.36 より低下している。

（2） 死亡数は減少

死亡数は 137 万 2648 人で、前年の 138 万 1093 人より 8445 人減少し、死亡率（人口千対）は 11.1 で、前年の 11.2 より低下している。

死因別にみると、死因順位の第１位は悪性新生物＜腫瘍＞（全死亡者に占める割合は 27.6%）、第２位は心疾患（高血圧性を除く）（同 15.0%）、第３位は老衰（同 9.6%）となっており、死亡者のおよそ 3.6 人に１人は悪性新生物＜腫瘍＞が死因となっている。

（3） 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△53 万 1816 人で、前年の△51 万 5854 人より 1 万 5962 人減少し、自然増減率（人口千対）は△4.3 で、前年の△4.2 より低下し、数・率ともに 14 年連続で減少かつ低下している。

自然増減数が増加した都道府県は、沖縄県（2553 人）のみであった。

（4） 死産数は減少

死産数は 1 万 7286 胎で、前年の 1 万 9454 胎より 2168 胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は 20.1 で、前年の 22.0 より低下している。死産率のうち、自然死産率は 9.5 で前年の 10.2 より低下し、人工死産率は 10.6 で前年の 11.8 より低下している。

（５）婚姻件数は減少

婚姻件数は 52 万 5490 組で、前年の 59 万 9007 組より 7 万 3517 組減少し、婚姻率（人口千対）は 4.3 で、前年の 4.8 より低下している。

平均初婚年齢は夫 31.0 歳で前年の 31.2 歳より低下し、妻は 29.4 歳で前年の 29.6 歳より低下している。

（６）離婚件数は減少

離婚件数は 19 万 3251 組で、前年の 20 万 8496 組より 1 万 5245 組減少し、離婚率（人口千対）は 1.57 で、前年の 1.69 より低下している。

表１　人口動態総覧

	実数（人、胎、組）				率 1)		平均発生間隔	
	令和２年(2020)概数	令和元年(2019)確定数	対前年増減 増減数	対前年増減 増減率(%)	令和２年(2020)概数	令和元年(2019)確定数	令和２年(2020)概数	令和元年(2019)確定数
出生	840 832	865 239	△ 24 407	△ 2.8	6.8	7.0	38s	36s
死亡	1 372 648	1 381 093	△ 8 445	△ 0.6	11.1	11.2	23s	23s
乳児死亡	1 512	1 654	△ 142	△ 8.6	1.8	1.9	5h 48m 34s	5h 17m 47s
新生児死亡	704	755	△ 51	△ 6.8	0.8	0.9	12h 28m 38s	11h 36m 10s
自然増減	△ 531 816	△ 515 854	△ 15 962	…	△ 4.3	△ 4.2	…	…
死産	17 286	19 454	△ 2 168	△ 11.1	20.1	22.0	30m 29s	27m 1s
自然死産	8 192	8 997	△ 805	△ 8.9	9.5	10.2	1h 4m 20s	58m 25s
人工死産	9 094	10 457	△ 1 363	△ 13.0	10.6	11.8	57m 57s	50m 16s
周産期死亡	2 674	2 955	△ 281	△ 9.5	3.2	3.4	3h 17m 6s	2h 57m 52s
妊娠満22週以後の死産	2 122	2 377	△ 255	△ 10.7	2.5	2.7	4h 8m 22s	3h 41m 7s
早期新生児死亡	552	578	△ 26	△ 4.5	0.7	0.7	15h 54m 47s	15h 9m 21s
婚姻	525 490	599 007	△ 73 517	△ 12.3	4.3	4.8	60s	53s
離婚	193 251	208 496	△ 15 245	△ 7.3	1.57	1.69	2m 44s	2m 31s

	令和２年(2020)概数	令和元年(2019)確定数
合計特殊出生率	1.34	1.36

注： 1)出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対、乳児死亡・新生児死亡・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。

2　出生

（1）出生数

令和２年の出生数は 84 万 832 人で、前年の 86 万 5239 人より 2 万 4407 人減少し、出生率（人口千対）は 6.8 で、前年の 7.0 より低下している（表１）。

出生数の年次推移をみると、昭和 24 年の 269 万 6638 人をピークに、昭和 50 年以降は減少と増加を繰り返しながら減少傾向が続いており、平成 27 年は 5 年ぶりに増加したが、平成 28 年から再び減少している（図１）。

母の年齢（５歳階級）別では、45 歳以上で前年より増加し、44 歳以下の各階級では減少している。出生順位別では、すべての出生順位で前年より減少している（表２）。

第１子出生時の母の平均年齢は上昇傾向にあったが、平成 27 年から 30.7 歳と横ばいとなっている（表３）。

図１　出生数及び合計特殊出生率の年次推移

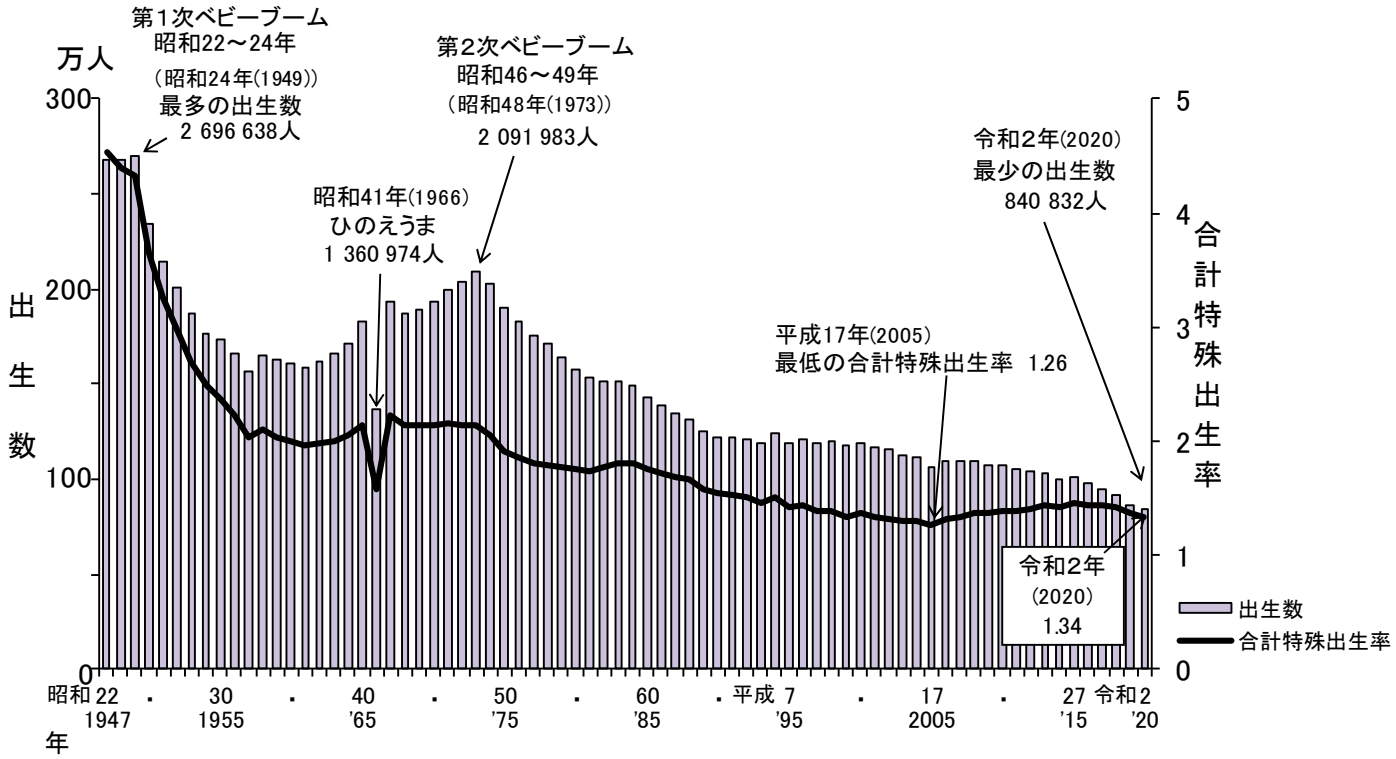


表２　母の年齢（５歳階級）・出生順位別にみた出生数の年次推移

母の年齢	出生数（人）				対前年増減（人）		
	平成29年 (2017)	平成30年 ('18)	令和元年 ('19)	令和２年 ('20)	30年-29年 ('18-'17)	元年-30年 ('19-'18)	２年-元年 ('20-'19)
総　　数	946 146	918 400	865 239	840 832	△ 27 746	△ 53 161	△ 24 407
19歳以下	9 900	8 778	7 782	6 948	△ 1 122	△ 996	△ 834
20～24	79 272	77 023	72 092	66 750	△ 2 249	△ 4 931	△ 5 342
25～29	240 959	233 754	220 933	217 802	△ 7 205	△ 12 821	△ 3 131
30～34	345 441	334 906	312 582	303 434	△ 10 535	△ 22 324	△ 9 148
35～39	216 954	211 021	201 010	196 322	△ 5 933	△ 10 011	△ 4 688
40～44	52 108	51 258	49 191	47 899	△ 850	△ 2 067	△ 1 292
45歳以上	1 512	1 659	1 649	1 676	147	△ 10	27
第　1　子	439 295	426 407	400 952	392 540	△ 12 888	△ 25 455	△ 8 412
19歳以下	8 692	7 785	6 895	6 181	△ 907	△ 890	△ 714
20～24	52 987	51 728	48 516	45 433	△ 1 259	△ 3 212	△ 3 083
25～29	141 055	138 391	131 383	131 498	△ 2 664	△ 7 008	115
30～34	142 374	138 388	129 567	127 490	△ 3 986	△ 8 821	△ 2 077
35～39	74 009	70 693	66 213	64 439	△ 3 316	△ 4 480	△ 1 774
40～44	19 456	18 655	17 652	16 762	△ 801	△ 1 003	△ 890
45歳以上	722	766	726	736	44	△ 40	10
第　2　子	348 859	338 094	315 713	304 026	△ 10 765	△ 22 381	△ 11 687
19歳以下	1 139	940	832	728	△ 199	△ 108	△ 104
20～24	21 846	20 778	19 217	17 381	△ 1 068	△ 1 561	△ 1 836
25～29	74 946	71 615	67 014	64 849	△ 3 331	△ 4 601	△ 2 165
30～34	140 252	135 979	126 436	121 936	△ 4 273	△ 9 543	△ 4 500
35～39	89 873	87 938	82 489	79 939	△ 1 935	△ 5 449	△ 2 550
40～44	20 372	20 339	19 214	18 662	△ 33	△ 1 125	△ 552
45歳以上	431	505	511	531	74	6	20
第３子以上	157 992	153 899	148 574	144 266	△ 4 093	△ 5 325	△ 4 308
19歳以下	69	53	55	39	△ 16	2	△ 16
20～24	4 439	4 517	4 359	3 936	78	△ 158	△ 423
25～29	24 958	23 748	22 536	21 455	△ 1 210	△ 1 212	△ 1 081
30～34	62 815	60 539	56 579	54 008	△ 2 276	△ 3 960	△ 2 571
35～39	53 072	52 390	52 308	51 944	△ 682	△ 82	△ 364
40～44	12 280	12 264	12 325	12 475	△ 16	61	150
45歳以上	359	388	412	409	29	24	△ 3

注：　総数には母の年齢不詳を含む。

表３　第１子出生時の母の平均年齢の年次推移

	昭和50年 (1975)	60 ('85)	平成7年 ('95)	17 (2005)	27 ('15)	28 ('16)	29 ('17)	30 ('18)	令和元年 ('19)	2 ('20)
平均年齢（歳）	25.7	26.7	27.5	29.1	30.7	30.7	30.7	30.7	30.7	30.7

（２）合計特殊出生率

令和２年の合計特殊出生率は 1.34 で、前年の 1.36 より低下している。

年次推移をみると、平成 18 年から上昇傾向が続いていたが、平成 26 年に低下し、平成 27 年の再上昇の後、平成 28 年からは再び低下している。

母の年齢（５歳階級）別にみると、最も合計特殊出生率が高いのは、30～34 歳となっている。（表４－１、図２）

出生順位別では、すべての出生順位で前年より低下している（表４－２）。

都道府県別にみると、沖縄県（1.86）、島根県(1.69)、宮崎県（1.68）、長崎県（1.64）、鹿児島県（1.63）が高く、東京都（1.13)、北海道（1.21)、宮城県（1.21)、京都府（1.22)、神奈川県（1.25）が低くなっている（表５、図３)。

表４－１　母の年齢（５歳階級）別にみた合計特殊出生率の年次推移

年　齢	合計特殊出生率								対前年増減		
	昭和60年 (1985)	平成7年 ('95)	17 (2005)	27 ('15)	29 ('17)	30 ('18)	令和元年 ('19)	2 ('20)	30年-29年 ('18-'17)	元年-30年 ('19-'18)	2年-元年 ('20-'19)
総　数	1.76	1.42	1.26	1.45	1.43	1.42	1.36	1.34	△ 0.01	△ 0.06	△ 0.02
15～19 歳	0.0229	0.0185	0.0253	0.0206	0.0170	0.0153	0.0137	0.0124	△ 0.0017	△ 0.0016	△ 0.0013
20～24	0.3173	0.2022	0.1823	0.1475	0.1379	0.1329	0.1243	0.1149	△ 0.0050	△ 0.0086	△ 0.0094
25～29	0.8897	0.5880	0.4228	0.4215	0.4077	0.4038	0.3858	0.3803	△ 0.0039	△ 0.0180	△ 0.0055
30～34	0.4397	0.4677	0.4285	0.5173	0.5128	0.5118	0.4940	0.4942	△ 0.0010	△ 0.0178	0.0002
35～39	0.0846	0.1311	0.1761	0.2864	0.2910	0.2895	0.2805	0.2797	△ 0.0015	△ 0.0089	△ 0.0009
40～44	0.0094	0.0148	0.0242	0.0557	0.0596	0.0609	0.0609	0.0613	0.0013	△ 0.0001	0.0004
45～49	0.0003	0.0004	0.0008	0.0015	0.0016	0.0017	0.0017	0.0018	0.0001	△ 0.0000	0.0001

注：年齢階級別の数値は各歳の年齢別出生率を合計したものであり、算出に用いた15歳及び49歳の出生数にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。なお、年齢不詳は含まない。

表４－２　出生順位別にみた合計特殊出生率の年次推移

出生順位	合計特殊出生率								対前年増減		
	昭和60年 (1985)	平成7年 ('95)	17 (2005)	27 ('15)	29 ('17)	30 ('18)	令和元年 ('19)	2 ('20)	30年-29年 ('18-'17)	元年-30年 ('19-'18)	2年-元年 ('20-'19)
総　数	1.76	1.42	1.26	1.45	1.43	1.42	1.36	1.34	△ 0.01	△ 0.06	△ 0.02
第　1　子	0.7611	0.6607	0.6240	0.7090	0.6808	0.6747	0.6462	0.6416	△ 0.0061	△ 0.0285	△ 0.0046
第　2　子	0.6950	0.5209	0.4643	0.5154	0.5187	0.5138	0.4904	0.4810	△ 0.0049	△ 0.0234	△ 0.0095
第３子以上	0.3078	0.2410	0.1717	0.2260	0.2281	0.2274	0.2242	0.2219	△ 0.0007	△ 0.0032	△ 0.0023

注：出生順位別の数値は出生順位ごとに15歳から49歳の各歳の年齢別出生率を合計したものであり、算出に用いた15歳及び49歳の出生数にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。なお、年齢不詳は含まない。

図２ 母の年齢（５歳階級）別にみた合計特殊出生率の年次推移

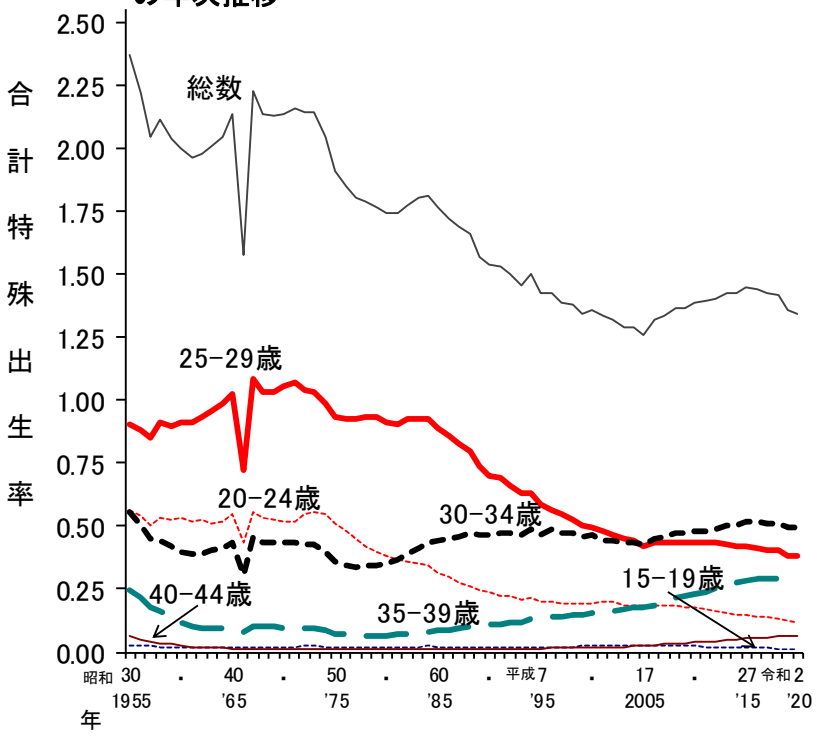


図３ 都道府県別にみた合計特殊出生率（令和２年(2020)）

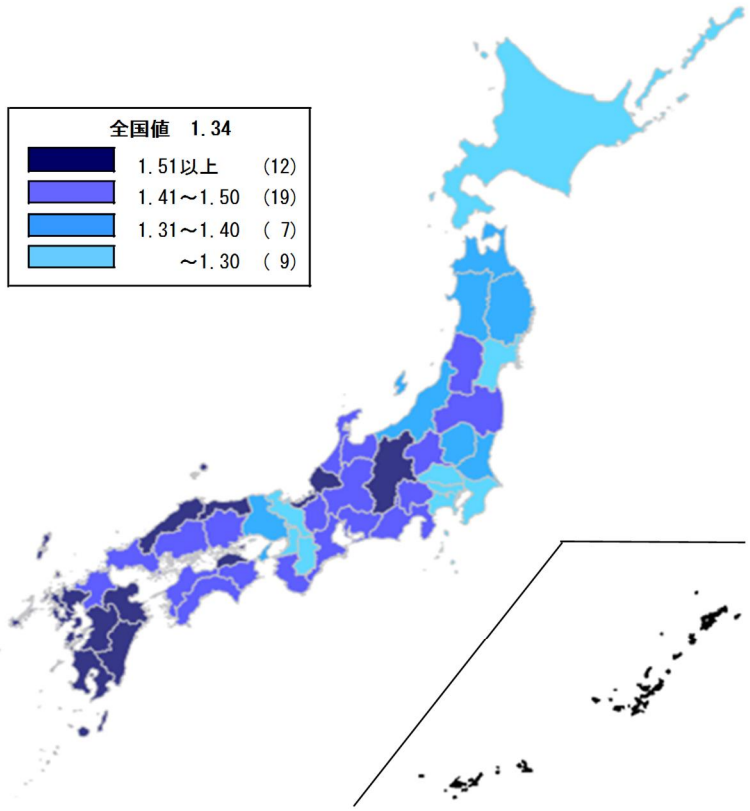


表５ 都道府県別にみた合計特殊出生率

都道府県	令和２年 (2020)	令和元年 (2019)
全国	1.34	1.36
北海道	1.21	1.24
青森	1.33	1.38
岩手	1.33	1.35
宮城	1.21	1.23
秋田	1.32	1.33
山形	1.41	1.40
福島	1.48	1.47
茨城	1.38	1.39
栃木	1.34	1.39
群馬	1.41	1.40
埼玉	1.26	1.27
千葉	1.28	1.28
東京	1.13	1.15
神奈川	1.25	1.28
新潟	1.35	1.38
富山	1.48	1.53
石川	1.48	1.46
福井	1.61	1.56
山梨	1.50	1.44
長野	1.53	1.57
岐阜	1.42	1.45
静岡	1.43	1.44
愛知	1.43	1.45
三重	1.45	1.47
滋賀	1.47	1.47
京都	1.22	1.25
大阪	1.30	1.31
兵庫	1.40	1.41
奈良	1.26	1.31
和歌山	1.49	1.46
鳥取	1.59	1.63
島根	1.69	1.68
岡山	1.47	1.47
広島	1.49	1.49
山口	1.50	1.56
徳島	1.45	1.46
香川	1.51	1.59
愛媛	1.45	1.46
高知	1.48	1.47
福岡	1.43	1.44
佐賀	1.61	1.64
長崎	1.64	1.66
熊本	1.60	1.60
大分	1.57	1.53
宮崎	1.68	1.73
鹿児島	1.63	1.63
沖縄	1.86	1.82

注：令和２年の分母に用いた人口は、全国では総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室で推計した10月１日現在の各歳別日本人人口、都道府県では５歳階級別日本人人口。

3　死亡

（1）死亡数・死亡率

令和２年の死亡数は 137 万 2648 人で、前年の 138 万 1093 人より 8445 人減少している（表１）。

死亡数の年次推移をみると、昭和 50 年代後半から増加傾向となり、平成 15 年に 100 万人を超え、平成 28 年より 130 万人台となっている。

75 歳以上の高齢者の死亡数は、昭和 50 年代後半から増加しており、平成 24 年からは全死亡数の７割を超えている。（図４）

死亡率（人口 10 万対）を年齢（５歳階級）別にみると、0～9 歳、55 歳～74 歳及び 80 歳以上の各階級で前年より低下している（表６－１）。

死亡率性比（男の死亡率／女の死亡率×100）を年齢（５歳階級）別にみると、5～9 歳を除く各階級で 100 以上となっており、20～24 歳、30～34 歳及び 55～79 歳の各階級では、男の死亡率が女の死亡率の２倍以上となっている（表６－２）。

図４　死亡数及び死亡率（人口千対）の年次推移

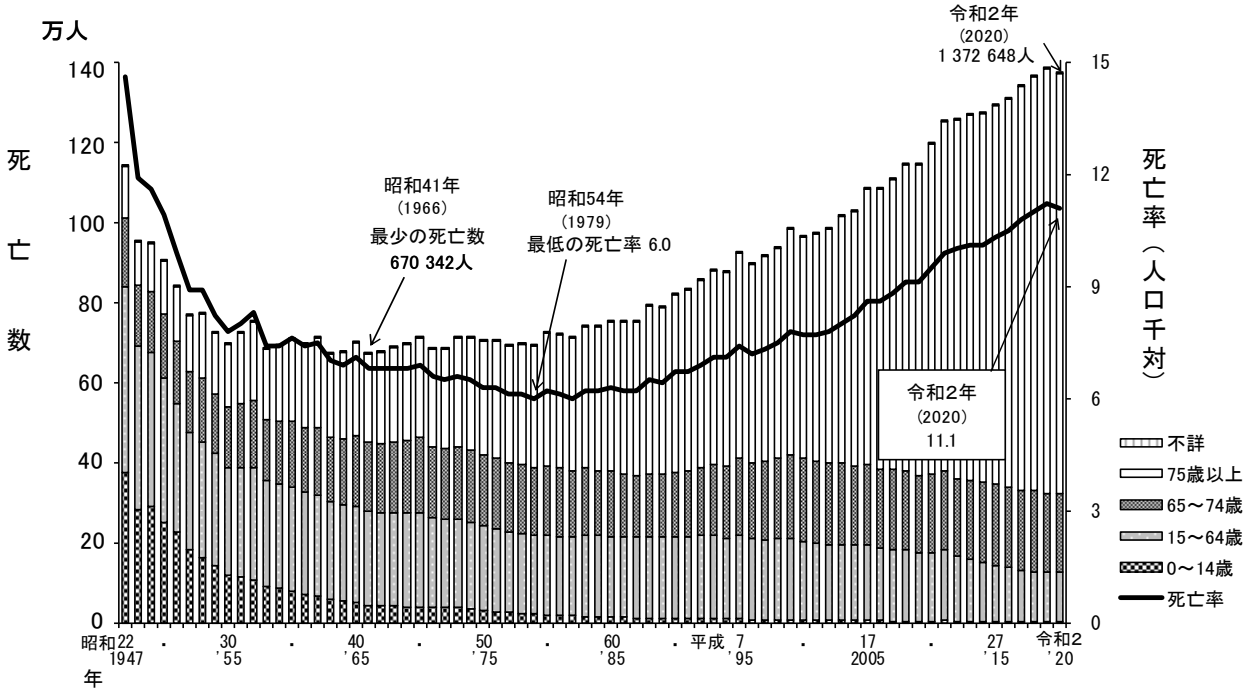


表６－１　年齢（５歳階級）別にみた死亡数・死亡率（人口 10 万対）

年齢階級	死亡数（人）			死亡率		
	令和２年 (2020)	令和元年 (2019)	対前年増減	令和２年 (2020)	令和元年 (2019)	対前年増減
総数	1 372 648	1 381 093	△ 8 445	1 113.7	1 116.2	△ 2.5
0～ 4歳	1 979	2 319	△ 340	43.2	49.6	△ 6.4
5～ 9	306	379	△ 73	6.2	7.5	△ 1.3
10～14	426	426	0	8.1	8.0	0.1
15～19	1 264	1 177	87	22.6	20.6	2.0
20～24	2 180	2 042	138	36.5	34.3	2.2
25～29	2 249	2 055	194	38.2	35.1	3.1
30～34	2 898	2 978	△ 80	46.2	46.0	0.2
35～39	4 395	4 477	△ 82	61.3	61.1	0.2
40～44	7 675	7 813	△ 138	93.5	91.5	2.0
45～49	14 103	14 024	79	146.4	145.5	0.9
50～54	19 805	19 545	260	232.0	231.9	0.1
55～59	27 502	27 390	112	353.1	360.1	△ 7.0
60～64	40 498	42 145	△ 1 647	551.1	565.7	△ 14.6
65～69	72 936	79 490	△ 6 554	890.8	918.6	△ 27.8
70～74	124 059	117 966	6 093	1 351.6	1 364.6	△ 13.0
75～79	162 105	163 768	△ 1 663	2 291.5	2 270.8	20.7
80～84	216 497	222 333	△ 5 836	4 006.3	4 186.8	△ 180.5
85～89	276 494	279 010	△ 2 516	7 390.2	7 743.9	△ 353.7
90～94	245 213	245 517	△ 304	13 342.0	13 965.7	△ 623.7
95～99	119 375	116 672	2 703	22 677.2	24 408.4	△ 1 731.2
100歳以上	30 148	29 083	1 065	39 420.0	42 149.3	△ 2 729.3

注：総数には年齢不詳を含む。

表６－２　性・年齢（５歳階級）別にみた死亡数・死亡率（人口 10 万対）・死亡率性比（令和２年(2020)）

年齢階級	死亡数（人）		死亡率		死亡率性比
	男	女	男	女	
総数	706 750	665 898	1 179.2	1 051.7	112.1
0～ 4歳	1 075	904	45.7	40.5	112.8
5～ 9	151	155	6.0	6.4	93.8
10～14	246	180	9.1	7.0	130.0
15～19	818	446	28.6	16.4	174.4
20～24	1 485	695	48.4	23.9	202.5
25～29	1 491	758	49.5	26.4	187.5
30～34	1 958	940	61.2	30.5	200.7
35～39	2 763	1 632	75.9	46.2	164.3
40～44	4 817	2 858	115.5	70.7	163.4
45～49	8 888	5 215	181.9	109.8	165.7
50～54	12 682	7 123	294.3	168.5	174.7
55～59	18 478	9 024	473.7	232.1	204.1
60～64	28 032	12 466	771.7	335.5	230.0
65～69	50 939	21 997	1 282.4	521.7	245.8
70～74	84 853	39 206	1 958.5	809.0	242.1
75～79	104 356	57 749	3 300.7	1 476.0	223.6
80～84	125 852	90 645	5 607.9	2 868.8	195.5
85～89	135 847	140 647	10 171.0	5 846.3	174.0
90～94	89 911	155 302	17 564.2	11 712.0	150.0
95～99	27 471	91 904	27 629.9	21 523.9	128.4
100歳以上	4 218	25 930	42 787.6	38 921.7	109.9

注：１）総数には年齢不詳を含む。
　　２）死亡率性比＝男の死亡率／女の死亡率×100

（２）死因

①　死因順位

令和２年の死亡数を死因順位別にみると、第１位は悪性新生物＜腫瘍＞で 37 万 8356 人（死亡率（人口 10 万対）は 307.0)、第２位は心疾患（高血圧性を除く）で 20 万 5518 人(同 166.7)、第３位は老衰で 13 万 2435 人(同 107.5)、第４位は脳血管疾患で 10 万 2956 人(同 83.5)となっている（表７)。

主な死因別の死亡率の年次推移をみると、悪性新生物＜腫瘍＞は一貫して上昇しており、昭和 56 年以降死因順位第１位となっている。令和２年の全死亡者に占める割合は 27.6%であり、全死亡者のおよそ 3.6 人に１人は悪性新生物＜腫瘍＞が死因となっている。

心疾患（高血圧性を除く）は、昭和 60 年に脳血管疾患にかわり第２位となり、令和２年は全死亡者に占める割合は 15.0%となっている。

老衰は、昭和 22 年をピークに低下傾向が続いたが、平成 13 年以降上昇しており、平成 30 年に脳血管疾患にかわり第３位となり、令和２年は全死亡者に占める割合は 9.6%となった。

脳血管疾患は、昭和 45 年をピークに低下傾向が続き、令和２年の全死亡者に占める割合は 7.5%となっている。（図５、図６）

令和２年の死亡者数を死因別にみると、肺炎は 7 万 8445 人で対前年比 1 万 7073 人の減少となっており、新型コロナウイルス感染症は、3466 人となっている（表７)。

図５　主な死因の構成割合（令和２年(2020)）

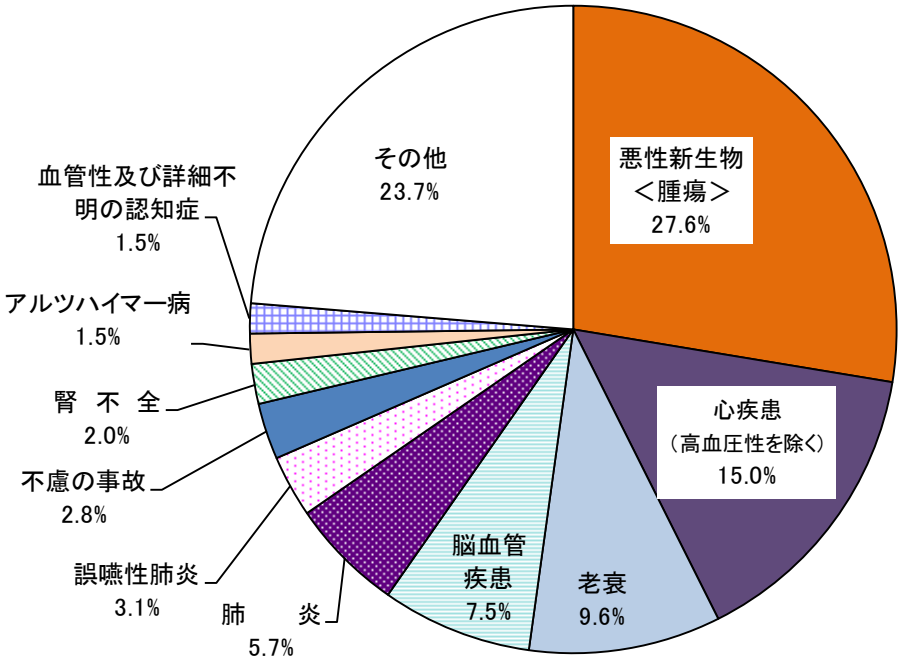
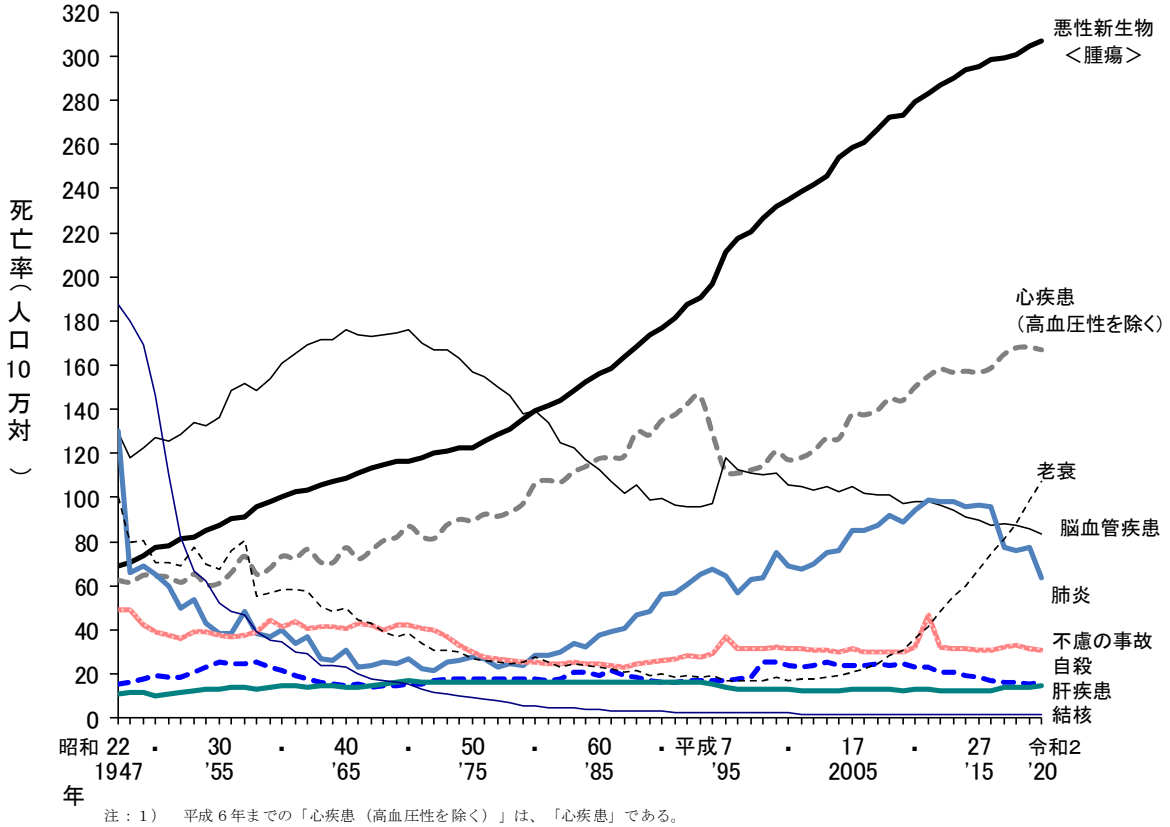


表７　性別にみた死因順位別死亡数・死亡率（人口 10 万対）

死因	令和２年(2020)									令和元年(2019)		
	死因順位	総数		死因順位	男		死因順位	女		死因順位	総数	
		死亡数(人)	死亡率		死亡数(人)	死亡率		死亡数(人)	死亡率		死亡数(人)	死亡率
全死因		1 372 648	1 113.7		706 750	1 179.2		665 898	1 051.7		1 381 093	1 116.2
悪性新生物〈腫瘍〉	(1)	378 356	307.0	(1)	220 965	368.7	(1)	157 391	248.6	(1)	376 425	304.2
心疾患（高血圧性を除く）	(2)	205 518	166.7	(2)	99 247	165.6	(2)	106 271	167.8	(2)	207 714	167.9
老衰	(3)	132 435	107.5	(5)	35 777	59.7	(3)	96 658	152.7	(3)	121 863	98.5
脳血管疾患	(4)	102 956	83.5	(3)	50 376	84.0	(4)	52 580	83.0	(4)	106 552	86.1
肺炎	(5)	78 445	63.6	(4)	44 898	74.9	(5)	33 547	53.0	(5)	95 518	77.2
誤嚥性肺炎	(6)	42 746	34.7	(6)	25 081	41.8	(6)	17 665	27.9	(6)	40 385	32.6
不慮の事故	(7)	38 069	30.9	(7)	21 905	36.5	(7)	16 164	25.5	(7)	39 184	31.7
腎不全	(8)	26 946	21.9	(8)	13 960	23.3	(10)	12 986	20.5	(8)	26 644	21.5
アルツハイマー病	(9)	20 852	16.9	(16)	7 244	12.1	(8)	13 608	21.5	(10)	20 730	16.8
血管性及び詳細不明の認知症	(10)	20 811	16.9	(15)	7 644	12.8	(9)	13 167	20.8	(9)	21 394	17.3

注：１）男の9位は「自殺」で死亡数は13 576、死亡率は22.7。10位は「慢性閉塞性肺疾患(COPD)」で死亡数は13 466、死亡率は22.5である。
２）「結核」は死亡数が1 909、死亡率は1.5である。
３）「熱中症」は死亡数が1 515、死亡率は1.2である。
４）「新型コロナウイルス感染症」は死亡数が3 466、死亡率は2.8である。

図６　主な死因別にみた死亡率（人口 10 万対）の年次推移



注：１）　平成６年までの「心疾患（高血圧性を除く）」は、「心疾患」である。
２）　平成６・７年の「心疾患（高血圧性を除く）」の低下は、死亡診断書（死体検案書）（平成７年１月施行）において「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの施行前からの周知の影響によるものと考えられる。
３）　平成７年の「脳血管疾患」の上昇の主な要因は、ICD-10（平成７年１月適用）による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられる。
４）　平成29年の「肺炎」の低下の主な要因は、ICD-10（2013年版）（平29年１月適用）による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられる。

②　年齢別死因

性・年齢（５歳階級）別に主な死因の構成割合をみると、男女ともに５～９歳では悪性新生物＜腫瘍＞及び不慮の事故が多く、男は 10～14 歳では自殺及び悪性新生物＜腫瘍＞、15～29 歳で自殺及び不慮の事故、30～44 歳で自殺及び悪性新生物＜腫瘍＞が多く、女は 10～34 歳で自殺、悪性新生物＜腫瘍＞及び不慮の事故、35～49 歳で悪性新生物＜腫瘍＞及び自殺が多くなっている。年齢階級が高くなるにしたがって、悪性新生物＜腫瘍＞の占める割合が高くなり、男では 65～69 歳、女では 55～59 歳がピークとなっている。（図７－１）

１歳未満の乳児死亡数の死因別構成割合では、男女とも「先天奇形，変形及び染色体異常」の占める割合が多くなっている（図７－２）。

図７－１　性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合（令和２年(2020)）

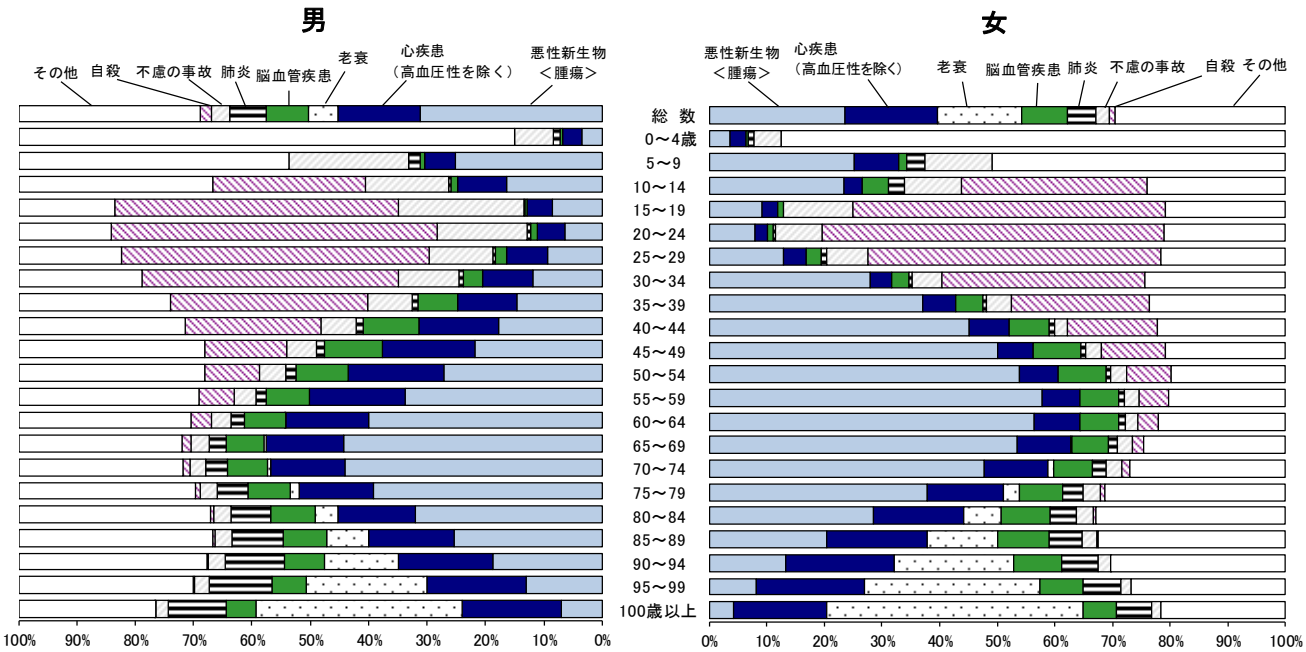
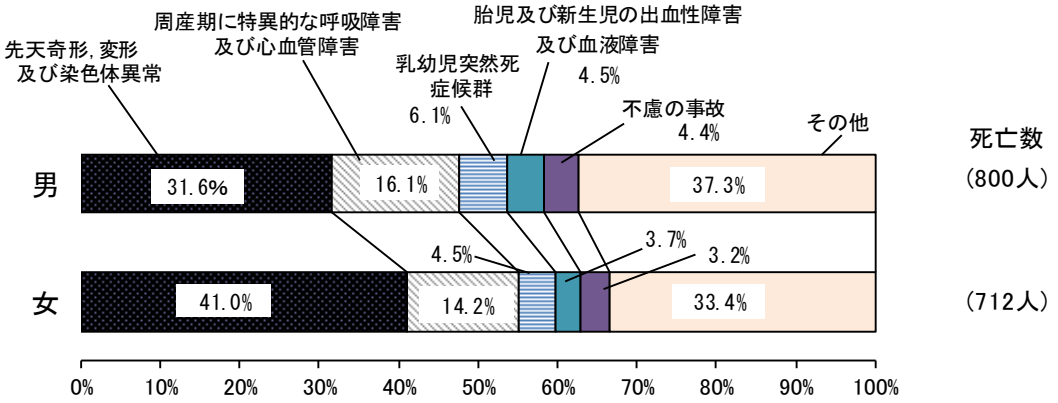


図７－２　乳児死亡の主な死因の構成割合（令和２年(2020)）



③　部位別にみた悪性新生物＜腫瘍＞

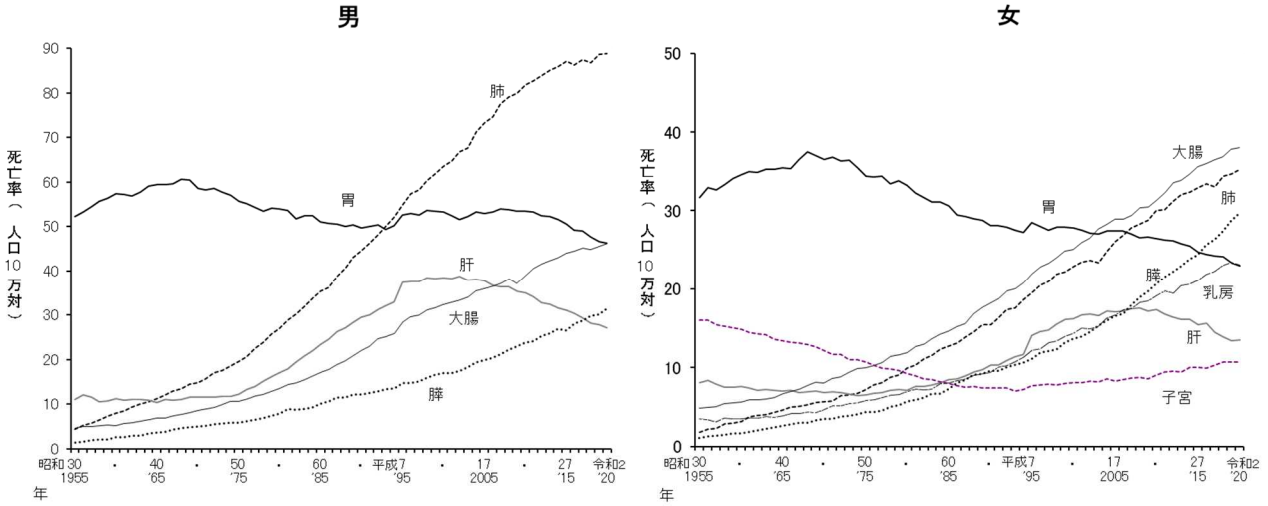
悪性新生物＜腫瘍＞の主な部位別に死亡率（人口 10 万対）をみると、男では「肺」がもっとも高く、平成５年以降第１位となり、令和２年の死亡率は 88.8（死亡数は５万 3244 人）となっている。女では「大腸」と「肺」が高く、「大腸」は平成 15 年以降第１位となり、令和２年の死亡率は 38.0（死亡数は２万 4069 人）となっている。（表８、図８）

表８　悪性新生物＜腫瘍＞の主な部位別にみた死亡数・死亡率（人口 10 万対）

部位	昭和40年 (1965)	50 ('75)	60 ('85)	平成7年 ('95)	17 (2005)	27 ('15)	29 ('17)	30 ('18)	令和元年 ('19)	2 ('20)
	死　亡　数　（人）									
男										
胃	28 636	30 403	30 146	32 015	32 643	30 810	29 745	28 843	28 043	27 769
肝	5 006	6 677	13 780	22 773	23 203	19 008	17 822	17 032	16 750	16 271
膵	1 748	3 155	5 953	8 965	12 284	16 186	17 403	17 938	18 124	18 878
肺	5 404	10 711	20 837	33 389	45 189	53 211	53 007	52 401	53 338	53 244
大腸	3 265	5 799	10 112	17 312	22 146	26 819	27 336	27 098	27 416	27 715
女										
胃	17 749	19 454	18 756	18 061	17 668	15 871	15 482	15 349	14 888	14 549
肝	3 499	3 696	5 192	8 934	11 065	9 882	9 294	8 893	8 514	8 568
膵	1 318	2 480	4 488	7 054	10 643	15 682	16 826	17 452	18 232	18 796
肺	2 321	4 048	7 753	12 356	16 874	21 171	21 120	21 927	22 056	22 337
乳房	1 966	3 262	4 922	7 763	10 721	13 585	14 285	14 653	14 839	14 650
子宮	6 689	6 075	4 912	4 865	5 381	6 429	6 611	6 800	6 804	6 806
大腸	3 335	5 654	8 926	13 962	18 684	22 883	23 349	23 560	24 004	24 069
	死　亡　率									
男										
胃	59.4	55.6	51.1	52.6	53.0	50.5	49.0	47.7	46.6	46.3
肝	10.4	12.2	23.3	37.4	37.7	31.1	29.4	28.2	27.8	27.1
膵	3.6	5.8	10.1	14.7	19.9	26.5	28.7	29.7	30.1	31.5
肺	11.2	19.6	35.3	54.8	73.3	87.2	87.4	86.7	88.6	88.8
大腸	6.8	10.6	17.1	28.4	35.9	43.9	45.1	44.8	45.5	46.2
女										
胃	35.5	34.4	30.6	28.5	27.4	24.7	24.2	24.1	23.4	23.0
肝	7.0	6.5	8.5	14.1	17.1	15.4	14.5	13.9	13.4	13.5
膵	2.6	4.4	7.3	11.1	16.5	24.4	26.3	27.4	28.7	29.7
肺	4.6	7.2	12.7	19.5	26.1	32.9	33.0	34.4	34.7	35.3
乳房	3.9	5.8	8.0	12.2	16.6	21.1	22.3	23.0	23.4	23.1
子宮	13.4	10.7	8.0	7.7	8.3	10.0	10.3	10.7	10.7	10.7
大腸	6.7	10.0	14.6	22.0	28.9	35.6	36.5	36.9	37.8	38.0

注：１）　大腸の悪性新生物＜腫瘍＞は、結腸の悪性新生物＜腫瘍＞と直腸Ｓ状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞を示す。
　　ただし、昭和42年までは直腸肛門部の悪性新生物を含む。
　　２）　平成６年以前の子宮の悪性新生物＜腫瘍＞は、胎盤を含む。
　　３）　子宮の悪性新生物＜腫瘍＞の死亡率については、女性人口10万に対する率である。

図８　悪性新生物＜腫瘍＞の主な部位別にみた死亡率（人口 10 万対）の年次推移



注：１）　大腸の悪性新生物＜腫瘍＞は、結腸の悪性新生物＜腫瘍＞と直腸Ｓ状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞を示す。ただし、昭和42年までは直腸肛門部の悪性新生物を含む。
　　２）　平成６年以前の子宮の悪性新生物＜腫瘍＞は、胎盤を含む。
　　３）　子宮の悪性新生物＜腫瘍＞の死亡率については、女性人口10万に対する率である。

4　婚姻

令和２年の婚姻件数は 52 万 5490 組で、前年の 59 万 9007 組より 7 万 3517 組減少し、婚姻率（人口千対）は 4.3 で、前年の 4.8 より低下している（表１）。

婚姻件数の年次推移をみると、昭和 47 年の 109 万 9984 組をピークに、昭和 50 年代以降は増加と減少を繰り返しながら推移している。平成 25 年から減少が続き、令和元年は７年ぶりの増加となったが、令和２年は再び減少している。（図９）

初婚の妻の年齢（各歳）の構成割合を 10 年ごとに比較すると、ピークの年齢は、20 年前からは変わっていないが、年齢の低い者の割合が低下し、高い年齢の者の割合が上昇する傾向にある（図 10）。

年齢（５歳階級）別に妻の初婚率（女性人口千対）をみると、すべての年齢階級において前年に比べ低下している（表９）。

令和２年の平均初婚年齢は、夫 31.0 歳、妻 29.4 歳で、夫妻とも前年より低下している（表 10－１）。

これを都道府県別にみると、平均初婚年齢が最も低いのは、夫は山口県と沖縄県で 30.0 歳、妻は鳥取県、岡山県及び山口県で 28.7 歳、最も高いのは夫妻とも東京都で、夫 32.1 歳、妻 30.4 歳となっている（表 10－２）。

再婚件数の割合をみると、夫 19.4%、妻 16.8%で、夫妻とも前年より低下している（表 11）。

図９　婚姻件数及び婚姻率（人口千対）の年次推移

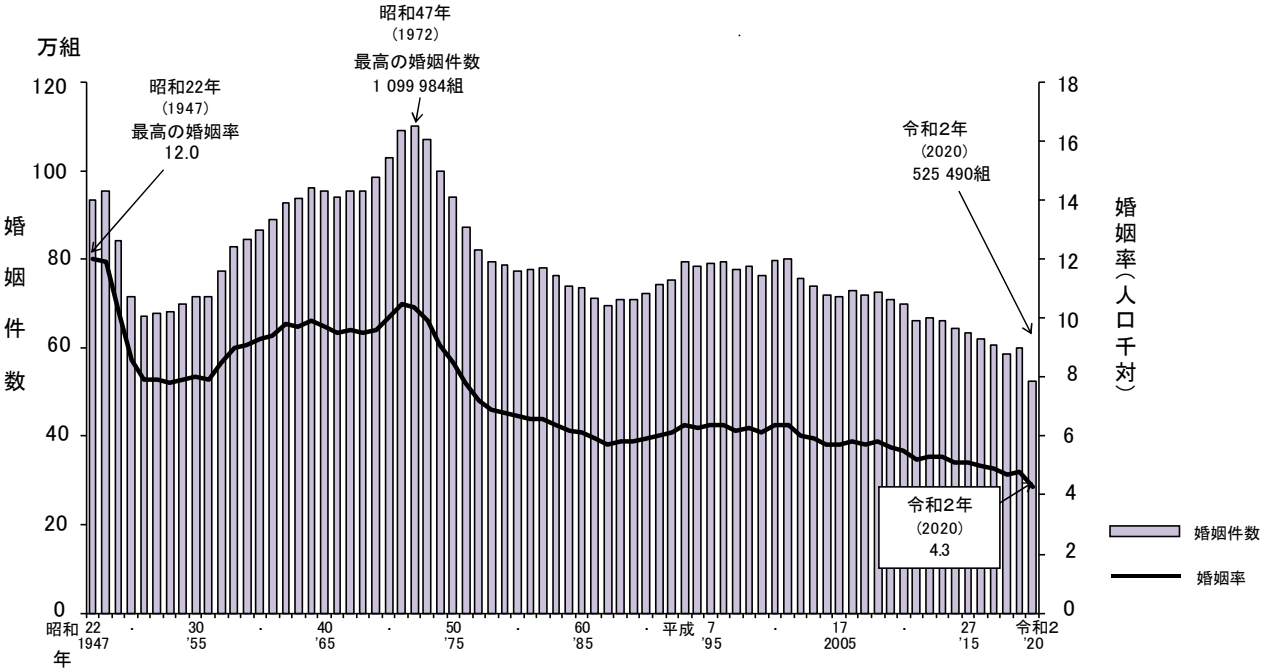
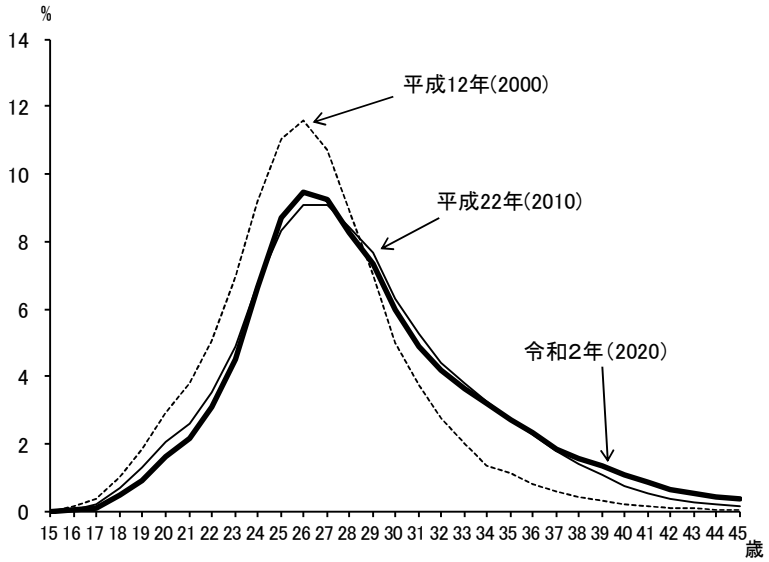


図 10　初婚の妻の年齢（各歳）の構成割合



注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表９　年齢（５歳階級）別にみた妻の初婚率（女性人口千対）の年次推移

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
平成 7 年 (1995)	48.89	70.64	18.45	3.84
17 (2005)	34.12	60.06	24.41	7.24
27 ('15)	26.12	58.09	28.83	11.44
29 ('17)	25.21	57.46	27.40	10.90
30 ('18)	23.79	55.71	26.37	10.57
令和元 年 ('19)	23.34	56.27	27.19	10.81
2 ('20)	20.41	49.31	23.33	9.16

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表 11 全婚姻件数に対する夫妻の再婚件数の割合の年次推移

	夫	妻
	%	%
平成 7 年 (1995)	13.2	11.6
17 (2005)	18.2	16.0
27 ('15)	19.7	16.8
29 ('17)	19.5	16.7
30 ('18)	19.7	16.9
令和元 年 ('19)	19.7	16.9
2 ('20)	19.4	16.8

表 10－１　夫妻の平均初婚年齢の年次推移

	夫	妻
	歳	歳
平成 7 年 (1995)	28.5	26.3
17 (2005)	29.8	28.0
27 ('15)	31.1	29.4
29 ('17)	31.1	29.4
30 ('18)	31.1	29.4
令和元 年 ('19)	31.2	29.6
2 ('20)	31.0	29.4

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表 10－２　都道府県別にみた夫妻の平均初婚年齢（令和２年(2020)）

都道府県	夫	妻
	歳	歳
北海道	30.7	29.4
青森	30.7	29.1
岩手	30.5	29.1
宮城	30.9	29.6
秋田	30.6	29.0
山形	30.9	29.2
福島	30.3	28.8
茨城	30.8	29.2
栃木	30.9	29.2
群馬	31.0	29.2
埼玉	31.4	29.6
千葉	31.3	29.6
東京	32.1	30.4
神奈川	31.7	29.9
新潟	31.0	29.2
富山	30.7	29.1
石川	30.5	29.0
福井	30.5	29.0
山梨	31.4	29.5
長野	31.0	29.2
岐阜	30.5	28.9
静岡	30.8	29.1
愛知	30.8	29.0
三重	30.6	29.0
滋賀	30.5	29.1
京都	31.2	29.7
大阪	30.8	29.5
兵庫	30.8	29.5
奈良	30.8	29.4
和歌山	30.1	28.8
鳥取	30.3	28.7
島根	30.3	28.9
岡山	30.1	28.7
広島	30.3	29.0
山口	30.0	28.7
徳島	30.3	29.1
香川	30.3	28.9
愛媛	30.1	28.8
高知	31.0	29.6
福岡	30.6	29.4
佐賀	30.2	29.1
長崎	30.3	29.2
熊本	30.2	29.1
大分	30.3	29.2
宮崎	30.2	29.1
鹿児島	30.5	29.3
沖縄	30.0	29.0

注：令和２年(2020)に結婚生活に入ったもの。

5　離婚

令和２年の離婚件数は 19 万 3251 組で、前年の 20 万 8496 組より 1 万 5245 組減少し、離婚率（人口千対）は 1.57 で、前年の 1.69 より低下している（表１）。

離婚件数の年次推移をみると、昭和 39 年以降毎年増加を続けたが、昭和 59 年から減少している。平成に入り再び増加傾向にあったが、平成 14 年の 28 万 9836 組をピークに減少傾向が続いている。(図 11)

同居期間別に離婚件数をみると、令和２年はすべての同居期間で前年より減少している (表 12、図 12)。

図 11　離婚件数及び離婚率（人口千対）の年次推移

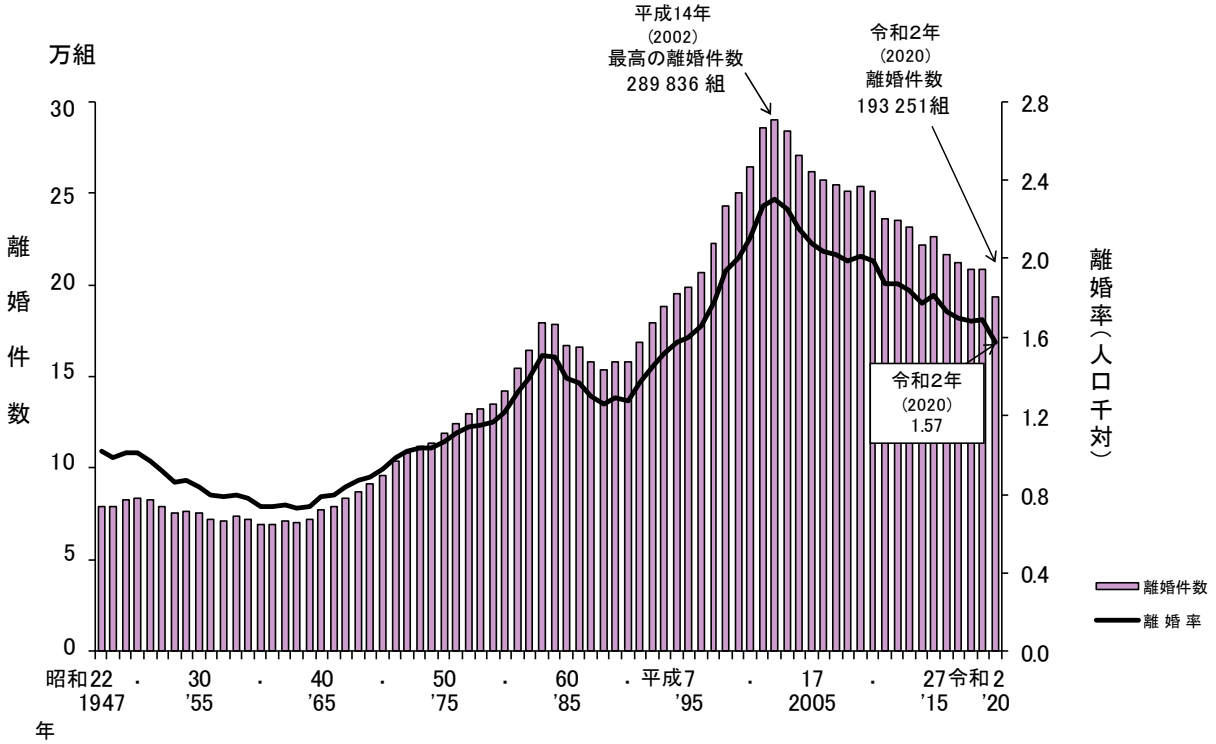
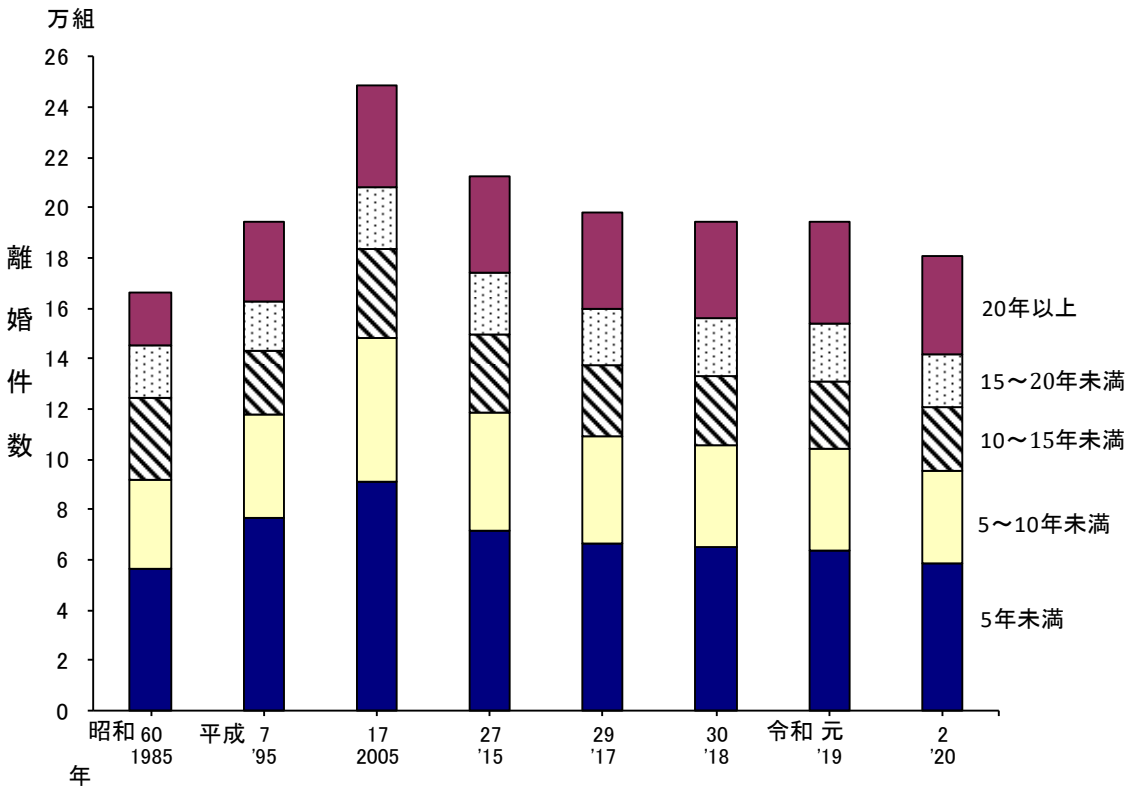


表 12　同居期間別にみた離婚件数の年次推移

同居期間	昭和60年 (1985)	平成7年 ('95)	17 (2005)	27 ('15)	29 ('17)	30 ('18)	令和元年 ('19)	2 ('20)	対前年（2年-元年） 増減数	対前年（2年-元年） 増減率（%）
	組	組	組	組	組	組	組	組	組	
総　数	166 640	199 016	261 917	226 238	212 296	208 333	208 496	193 251	△ 15 245	△ 7.3
5年未満	56 442	76 710	90 885	71 729	66 502	64 862	63 826	58 839	△ 4 987	△ 7.8
1 年未満	12 656	14 893	16 558	13 865	12 896	12 327	11 834	10 972	△ 862	△ 7.3
1 ～2	12 817	18 081	20 159	16 272	15 283	14 623	14 513	13 399	△ 1 114	△ 7.7
2 ～3	11 710	16 591	19 435	15 352	14 315	14 146	13 634	12 586	△ 1 048	△ 7.7
3 ～4	10 434	14 576	18 144	13 810	12 786	12 588	12 612	11 626	△ 986	△ 7.8
4 ～5	8 825	12 569	16 589	12 430	11 222	11 178	11 233	10 256	△ 977	△ 8.7
5～10年未満	35 338	41 185	57 562	47 086	42 339	40 863	40 052	36 570	△ 3 482	△ 8.7
10～15年未満	32 310	25 308	35 093	31 112	28 232	27 597	27 220	25 556	△ 1 664	△ 6.1
15～20年未満	21 528	19 153	24 885	23 942	22 956	22 460	22 629	21 008	△ 1 621	△ 7.2
20年以上	20 434	31 877	40 395	38 648	38 288	38 537	40 396	38 980	△ 1 416	△ 3.5
20 ～25年未満	12 706	17 847	18 401	17 051	17 255	17 125	17 827	17 320	△ 507	△ 2.8
25 ～30	4 827	8 684	10 747	10 014	10 129	10 247	10 924	10 517	△ 407	△ 3.7
30 ～35	1 793	3 506	6 453	5 315	4 959	5 031	5 283	5 035	△ 248	△ 4.7
35 年以上	1 108	1 840	4 794	6 268	5 945	6 134	6 362	6 108	△ 254	△ 4.0

注：総数には同居期間不詳を含む。

図 12　同居期間別にみた離婚件数の年次推移



統　　計　　表

第１表　　人口動態総覧の年次推移 (2-1)

年	次 1)	出生数	死亡数	（再掲） 乳児死亡数	新生児死亡数	自然増減数
1899	明治 32 年	1 386 981	932 087	213 359	108 077	454 894
1900	33	1 420 534	910 744	220 211	112 259	509 790
1901	34	1 501 591	925 810	225 107	115 794	575 781
1902	35	1 510 835	959 126	232 652	116 654	551 709
1903	36	1 489 816	931 008	226 982	112 909	558 808
1904	37	1 440 371	955 400	218 756	106 477	484 971
1905	38	1 452 770	1 004 661	220 450	103 382	448 109
1906	39	1 394 295	955 256	214 148	105 307	439 039
1907	40	1 614 472	1 016 798	244 300	118 617	597 674
1908	41	1 662 815	1 029 447	262 801	123 867	633 368
1909	42	1 693 850	1 091 264	283 436	129 629	602 586
1910	43	1 712 857	1 064 234	276 136	126 910	648 623
1911	44	1 747 803	1 043 906	276 798	127 302	703 897
1912	大正 元 年	1 737 674	1 037 016	268 025	123 902	700 658
1913	2	1 757 441	1 027 257	267 281	124 213	730 184
1914	3	1 808 402	1 101 815	286 678	125 745	706 587
1915	4	1 799 326	1 093 793	288 634	125 337	705 533
1916	5	1 804 822	1 187 832	307 283	132 000	616 990
1917	6	1 812 413	1 199 669	313 872	139 717	612 744
1918	7	1 791 992	1 493 162	337 919	145 710	298 830
1919	8	1 778 685	1 281 965	303 202	129 072	496 720
1920	9	2 025 564	1 422 096	335 613	139 681	603 468
1921	10	1 990 876	1 288 570	335 143	136 342	702 306
1922	11	1 969 314	1 286 941	327 604	132 856	682 373
1923	12	2 043 297	1 332 485	333 930	135 504	710 812
1924	13	1 998 520	1 254 946	312 267	126 385	743 574
1925	14	2 086 091	1 210 706	297 008	121 238	875 385
1926	昭和 元 年	2 104 405	1 160 734	289 275	119 642	943 671
1927	2	2 060 737	1 214 323	292 084	116 240	846 414
1928	3	2 135 852	1 236 711	293 881	115 682	899 141
1929	4	2 077 026	1 261 228	295 178	115 009	815 798
1930	5	2 085 101	1 170 867	258 703	104 101	914 234
1931	6	2 102 784	1 240 891	276 584	108 812	861 893
1932	7	2 182 742	1 175 344	256 505	104 573	1 007 398
1933	8	2 121 253	1 193 987	257 251	102 887	927 266
1934	9	2 043 783	1 234 684	255 063	103 408	809 099
1935	10	2 190 704	1 161 936	233 706	97 994	1 028 768
1936	11	2 101 969	1 230 278	245 357	101 043	871 691
1937	12	2 180 734	1 207 899	230 701	95 465	972 835
1938	13	1 928 321	1 259 805	220 695	89 159	668 516
1939	14	1 901 573	1 268 760	202 018	84 204	632 813
1940	15	2 115 867	1 186 595	190 509	81 869	929 272
1941	16	2 277 283	1 149 559	191 420	77 829	1 127 724
1942	17	2 233 660	1 166 630	190 897	76 177	1 067 030
1943	18	2 253 535	1 213 811	195 219	76 588	1 039 724
1947	22	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
1948	23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
1949	24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
1950	25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
1951	26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
1952	27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
1953	28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
1954	29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089
1955	30	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
1956	31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
1957	32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
1958	33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
1959	34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129

注：　＊印は概数である。
　　1）昭和47年以前は沖縄県を含まない。

（単位：人）

年	次 1)	出生数	死亡数	（再掲） 乳児死亡数	新生児死亡数	自然増減数
1960	昭和 35 年	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
1961	36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
1962	37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
1963	38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
1964	39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
1965	40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
1966	41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
1967	42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
1968	43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
1969	44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
1970	45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
1971	46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
1972	47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
1973	48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
1974	49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
1975	50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
1976	51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
1977	52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
1978	53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
1979	54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
1980	55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
1981	56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
1982	57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
1983	58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
1984	59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
1985	60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
1986	61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
1987	62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
1988	63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
1989	平成 元 年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
1990	2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
1991	3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
1992	4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
1993	5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
1994	6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
1995	7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
1996	8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
1997	9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
1998	10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
1999	11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
2000	12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
2001	13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
2002	14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
2003	15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
2004	16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
2005	17	1 062 530	1 083 796	2 958	1 510	△ 21 266
2006	18	1 092 674	1 084 451	2 864	1 444	8 223
2007	19	1 089 818	1 108 334	2 828	1 434	△ 18 516
2008	20	1 091 156	1 142 407	2 798	1 331	△ 51 251
2009	21	1 070 036	1 141 865	2 556	1 254	△ 71 829
2010	22	1 071 305	1 197 014	2 450	1 167	△ 125 709
2011	23	1 050 807	1 253 068	2 463	1 147	△ 202 261
2012	24	1 037 232	1 256 359	2 299	1 065	△ 219 127
2013	25	1 029 817	1 268 438	2 185	1 026	△ 238 621
2014	26	1 003 609	1 273 025	2 080	952	△ 269 416
2015	27	1 005 721	1 290 510	1 916	902	△ 284 789
2016	28	977 242	1 308 158	1 929	875	△ 330 916
2017	29	946 146	1 340 567	1 762	833	△ 394 421
2018	30	918 400	1 362 470	1 748	801	△ 444 070
2019	令和 元 年	865 239	1 381 093	1 654	755	△ 515 854
2020	＊ 2	840 832	1 372 648	1 512	704	△ 531 816

第１表　　人口動態総覧の年次推移 (2-2)

年	次 1)	死産数 総数	死産数 自然死産	死産数 人工死産	3) 周産期死亡数	婚姻件数	離婚件数	（参考）4) 周産期死亡数
1899	明治 32 年	135 727	…	…	…	297 372	66 545	…
1900	33	137 987	…	…	…	346 528	63 828	…
1901	34	155 489	…	…	…	378 457	63 442	…
1902	35	157 708	…	…	…	394 165	64 139	…
1903	36	153 920	…	…	…	370 961	65 392	…
1904	37	147 058	…	…	…	398 930	63 913	…
1905	38	142 092	…	…	…	350 898	60 061	…
1906	39	149 731	…	…	…	352 857	65 398	…
1907	40	158 814	…	…	…	432 949	61 058	…
1908	41	162 676	…	…	…	461 254	60 226	…
1909	42	161 576	…	…	…	437 882	58 936	…
1910	43	157 392	…	…	…	441 222	59 432	…
1911	44	155 319	…	…	…	433 117	58 067	…
1912	大正 元 年	147 545	…	…	…	430 422	59 143	…
1913	2	147 769	…	…	…	431 287	59 536	…
1914	3	145 692	…	…	…	452 932	59 992	…
1915	4	141 301	…	…	…	445 210	59 943	…
1916	5	139 998	…	…	…	433 680	60 254	…
1917	6	140 328	…	…	…	447 970	55 812	…
1918	7	142 507	…	…	…	500 580	56 474	…
1919	8	132 939	…	…	…	480 136	56 812	…
1920	9	144 038	…	…	…	546 207	55 511	…
1921	10	138 301	…	…	…	519 217	53 402	…
1922	11	132 244	…	…	…	515 916	53 053	…
1923	12	133 863	…	…	…	512 689	51 212	…
1924	13	125 839	…	…	…	513 130	51 770	…
1925	14	124 403	…	…	…	521 438	51 687	…
1926	昭和 元 年	124 038	…	…	…	502 847	50 119	…
1927	2	116 922	…	…	…	487 850	50 626	…
1928	3	120 191	…	…	…	499 555	49 119	…
1929	4	116 971	…	…	…	497 410	51 222	…
1930	5	117 730	…	…	…	506 674	51 259	…
1931	6	116 509	…	…	…	496 574	50 609	…
1932	7	119 579	…	…	…	515 270	51 437	…
1933	8	114 138	…	…	…	486 058	49 282	…
1934	9	113 043	…	…	…	512 654	48 610	…
1935	10	115 593	…	…	…	556 730	48 528	…
1936	11	111 056	…	…	…	549 116	46 167	…
1937	12	111 485	…	…	…	674 500	46 500	…
1938	13	99 528	…	…	…	538 831	44 656	…
1939	14	98 349	…	…	…	554 321	45 970	…
1940	15	102 034	…	…	…	666 575	48 556	…
1941	16	103 400	…	…	…	791 625	49 424	…
1942	17	95 448	…	…	…	679 044	46 268	…
1943	18	92 889	…	…	…	743 842	49 705	…
1947	22	123 837	…	…	…	934 170	79 551	…
1948	23	2) 143 963	＊104 325	＊ 31 055	…	953 999	79 032	…
1949	24	2) 192 677	＊114 161	＊ 75 585	…	842 170	82 575	…
1950	25	216 974	106 594	110 380	…	715 081	83 689	108 843
1951	26	217 231	101 237	115 994	…	671 905	82 331	99 865
1952	27	203 824	94 508	109 316	…	676 995	79 021	91 527
1953	28	193 274	89 751	103 523	…	682 077	75 255	85 932
1954	29	187 119	87 201	99 918	…	697 809	76 759	79 776
1955	30	183 265	85 159	98 106	…	714 861	75 267	75 918
1956	31	179 007	86 558	92 449	…	715 934	72 040	75 706
1957	32	176 353	86 895	89 458	…	773 362	71 651	70 502
1958	33	185 148	92 282	92 866	…	826 902	74 004	72 625
1959	34	181 893	92 688	89 205	…	847 135	72 455	69 912

注：＊印は概数である。
1) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。
2) 昭和23年、24年の死産には自然・人工死産の不詳を含む。

（単位：人、胎、組）

年次 1)		死産数 総数	死産数 自然死産	死産数 人工死産	3) 周産期死亡数	婚姻件数	離婚件数	（参考）4) 周産期死亡数
1960	昭和 35 年	179 281	93 424	85 857	…	866 115	69 410	66 552
1961	36	179 895	96 032	83 863	…	890 158	69 323	65 063
1962	37	177 363	97 256	80 107	…	928 341	71 394	62 650
1963	38	175 424	97 711	77 713	…	937 516	69 996	60 049
1964	39	168 046	97 357	70 689	…	963 130	72 306	56 827
1965	40	161 617	94 476	67 141	…	954 852	77 195	54 904
1966	41	148 248	83 253	64 995	…	940 120	79 432	42 583
1967	42	149 389	90 938	58 451	…	953 096	83 478	50 846
1968	43	143 259	87 381	55 878	…	956 312	87 327	45 921
1969	44	139 211	85 788	53 423	…	984 142	91 280	43 419
1970	45	135 095	84 073	51 022	…	1 029 405	95 937	41 917
1971	46	130 920	83 827	47 093	…	1 091 229	103 595	40 900
1972	47	125 154	81 741	43 413	…	1 099 984	108 382	38 754
1973	48	116 171	78 613	37 558	…	1 071 923	111 877	37 598
1974	49	109 738	74 618	35 120	…	1 000 455	113 622	34 383
1975	50	101 862	67 643	34 219	…	941 628	119 135	30 513
1976	51	101 930	64 046	37 884	…	871 543	124 512	27 133
1977	52	95 247	60 330	34 917	…	821 029	129 485	24 708
1978	53	87 463	55 818	31 645	…	793 257	132 146	22 217
1979	54	82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250	20 481
1980	55	77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689	18 385
1981	56	79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221	16 531
1982	57	78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980	15 303
1983	58	71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150	14 035
1984	59	72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746	12 998
1985	60	69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640	11 470
1986	61	65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054	10 148
1987	62	63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227	9 317
1988	63	59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600	8 508
1989	平成 元 年	55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811	7 450
1990	2	53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608	7 001
1991	3	50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969	6 544
1992	4	48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191	6 321
1993	5	45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297	5 989
1994	6	42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106	6 134
1995	7	39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016	5 526
1996	8	39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955	5 321
1997	9	39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635	4 974
1998	10	38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183	4 927
1999	11	38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529	4 665
2000	12	38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246	4 562
2001	13	37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911	4 238
2002	14	36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836	4 224
2003	15	35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854	3 995
2004	16	34 365	14 288	20 077	5 541	720 418	270 804	3 671
2005	17	31 818	13 502	18 316	5 149	714 265	261 917	3 492
2006	18	30 911	13 424	17 487	5 100	730 973	257 475	3 420
2007	19	29 313	13 107	16 206	4 906	719 822	254 832	3 306
2008	20	28 177	12 625	15 552	4 720	726 106	251 136	3 178
2009	21	27 005	12 214	14 791	4 519	707 740	253 354	3 096
2010	22	26 560	12 245	14 315	4 515	700 222	251 379	3 065
2011	23	25 751	11 940	13 811	4 315	661 898	235 720	2 961
2012	24	24 800	11 448	13 352	4 133	668 870	235 407	2 759
2013	25	24 102	10 938	13 164	3 862	660 622	231 385	2 649
2014	26	23 526	10 906	12 620	3 751	643 783	222 115	2 502
2015	27	22 621	10 864	11 757	3 729	635 225	226 238	2 495
2016	28	20 941	10 070	10 871	3 518	620 707	216 856	2 377
2017	29	20 364	9 740	10 624	3 309	606 952	212 296	2 242
2018	30	19 614	9 252	10 362	2 999	586 481	208 333	1 997
2019	令和 元 年	19 454	8 997	10 457	2 955	599 007	208 496	1 953
2020	＊ 2	17 286	8 192	9 094	2 674	525 490	193 251	1 817

注：3) 妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。
4) 妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

第２表　　人口動態総覧（率）の年次推移 (2-1)

年次 1)		出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率2)	自然死産率2)	人工死産率2)
		（人口千対）		（出生千対）		（人口千対）	（出産千対）		
1899	明治 32 年	32.0	21.5	153.8	77.9	10.5	89.1	…	…
1900	33	32.4	20.8	155.0	79.0	11.6	88.5	…	…
1901	34	33.9	20.9	149.9	77.1	13.0	93.8	…	…
1902	35	33.6	21.3	154.0	77.2	12.3	94.5	…	…
1903	36	32.7	20.4	152.4	75.8	12.3	93.6	…	…
1904	37	31.2	20.7	151.9	73.9	10.5	92.6	…	…
1905	38	31.2	21.6	151.7	71.2	9.6	89.1	…	…
1906	39	29.6	20.3	153.6	75.5	9.3	97.0	…	…
1907	40	34.0	21.4	151.3	73.5	12.6	89.6	…	…
1908	41	34.7	21.5	158.0	74.5	13.2	89.1	…	…
1909	42	34.9	22.5	167.3	76.5	12.4	87.1	…	…
1910	43	34.8	21.6	161.2	74.1	13.2	84.2	…	…
1911	44	35.1	20.9	158.4	72.8	14.1	81.6	…	…
1912	大正 元 年	34.4	20.5	154.2	71.3	13.9	78.3	…	…
1913	2	34.3	20.0	152.1	70.7	14.2	77.6	…	…
1914	3	34.8	21.2	158.5	69.5	13.6	74.6	…	…
1915	4	34.1	20.7	160.4	69.7	13.4	72.8	…	…
1916	5	33.7	22.2	170.3	73.1	11.5	72.0	…	…
1917	6	33.5	22.2	173.2	77.1	11.3	71.9	…	…
1918	7	32.7	27.3	188.6	81.3	5.5	73.7	…	…
1919	8	32.3	23.3	170.5	72.6	9.0	69.5	…	…
1920	9	36.2	25.4	165.7	69.0	10.8	66.4	…	…
1921	10	35.1	22.7	168.3	68.5	12.4	65.0	…	…
1922	11	34.3	22.4	166.4	67.5	11.9	62.9	…	…
1923	12	35.2	22.9	163.4	66.3	12.2	61.5	…	…
1924	13	33.9	21.3	156.2	63.2	12.6	59.2	…	…
1925	14	34.9	20.3	142.4	58.1	14.7	56.3	…	…
1926	昭和 元 年	34.6	19.1	137.5	56.9	15.5	55.7	…	…
1927	2	33.4	19.7	141.7	56.4	13.7	53.7	…	…
1928	3	34.1	19.8	137.6	54.2	14.4	53.3	…	…
1929	4	32.7	19.9	142.1	55.4	12.9	53.3	…	…
1930	5	32.4	18.2	124.1	49.9	14.2	53.4	…	…
1931	6	32.1	19.0	131.5	51.7	13.2	52.5	…	…
1932	7	32.9	17.7	117.5	47.9	15.2	51.9	…	…
1933	8	31.5	17.7	121.3	48.5	13.8	51.1	…	…
1934	9	29.9	18.1	124.8	50.6	11.8	52.4	…	…
1935	10	31.6	16.8	106.7	44.7	14.9	50.1	…	…
1936	11	30.0	17.5	116.7	48.1	12.4	50.2	…	…
1937	12	30.9	17.1	105.8	43.8	13.8	48.6	…	…
1938	13	27.2	17.7	114.4	46.2	9.4	49.1	…	…
1939	14	26.6	17.8	106.2	44.3	8.9	49.2	…	…
1940	15	29.4	16.5	90.0	38.7	12.9	46.0	…	…
1941	16	31.8	16.0	84.1	34.2	15.7	43.4	…	…
1942	17	30.9	16.1	85.5	34.1	14.7	41.0	…	…
1943	18	30.9	16.7	86.6	33.8	14.3	39.6	…	…
1947	22	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2	…	…
1948	23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	＊ 36.9	＊ 10.9
1949	24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	＊ 39.1	＊ 25.9
1950	25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
1951	26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
1952	27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
1953	28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
1954	29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1
1955	30	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
1956	31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
1957	32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
1958	33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
1959	34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3

注：　＊印は概数である。
1）昭和47年以前は沖縄県を含まない。
2）死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。

年次 1)		出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率2)	自然死産率2)	人工死産率2)
		（人口千対）		（出生千対）		（人口千対）	（出産千対）		
1960	昭和 35 年	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
1961	36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
1962	37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
1963	38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
1964	39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
1965	40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
1966	41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
1967	42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
1968	43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
1969	44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
1970	45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
1971	46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
1972	47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
1973	48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
1974	49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
1975	50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
1976	51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
1977	52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
1978	53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
1979	54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
1980	55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
1981	56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
1982	57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
1983	58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
1984	59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
1985	60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
1986	61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
1987	62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
1988	63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
1989	平成 元 年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
1990	2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
1991	3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
1992	4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
1993	5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
1994	6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
1995	7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
1996	8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
1997	9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
1998	10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
1999	11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
2000	12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
2001	13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0
2002	14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4	31.1	12.7	18.3
2003	15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9	30.5	12.6	17.8
2004	16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7	30.0	12.5	17.5
2005	17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7
2006	18	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1	27.5	11.9	15.6
2007	19	8.6	8.8	2.6	1.3	△ 0.1	26.2	11.7	14.5
2008	20	8.7	9.1	2.6	1.2	△ 0.4	25.2	11.3	13.9
2009	21	8.5	9.1	2.4	1.2	△ 0.6	24.6	11.1	13.5
2010	22	8.5	9.5	2.3	1.1	△ 1.0	24.2	11.2	13.0
2011	23	8.3	9.9	2.3	1.1	△ 1.6	23.9	11.1	12.8
2012	24	8.2	10.0	2.2	1.0	△ 1.7	23.4	10.8	12.6
2013	25	8.2	10.1	2.1	1.0	△ 1.9	22.9	10.4	12.5
2014	26	8.0	10.1	2.1	0.9	△ 2.1	22.9	10.6	12.3
2015	27	8.0	10.3	1.9	0.9	△ 2.3	22.0	10.6	11.4
2016	28	7.8	10.5	2.0	0.9	△ 2.6	21.0	10.1	10.9
2017	29	7.6	10.8	1.9	0.9	△ 3.2	21.1	10.1	11.0
2018	30	7.4	11.0	1.9	0.9	△ 3.6	20.9	9.9	11.0
2019	令和 元 年	7.0	11.2	1.9	0.9	△ 4.2	22.0	10.2	11.8
2020	＊ 2	6.8	11.1	1.8	0.8	△ 4.3	20.1	9.5	10.6

第２表　　人口動態総覧（率）の年次推移 (2-2)

年	次 1)	周産期死亡率2) (出産千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)	合計特殊出生率	年齢調整死亡率3) (人口千対) 男	年齢調整死亡率3) (人口千対) 女	(参考) 4) 周産期死亡率 (出生千対)
1899	明治 32 年	…	6.9	1.53	…	…	…	…
1900	33	…	7.9	1.46	…	…	…	…
1901	34	…	8.5	1.43	…	…	…	…
1902	35	…	8.8	1.43	…	…	…	…
1903	36	…	8.1	1.44	…	…	…	…
1904	37	…	8.6	1.39	…	…	…	…
1905	38	…	7.5	1.29	…	…	…	…
1906	39	…	7.5	1.39	…	…	…	…
1907	40	…	9.1	1.29	…	…	…	…
1908	41	…	9.6	1.26	…	…	…	…
1909	42	…	9.0	1.21	…	…	…	…
1910	43	…	9.0	1.21	…	…	…	…
1911	44	…	8.7	1.16	…	…	…	…
1912	大正 元 年	…	8.5	1.17	…	…	…	…
1913	2	…	8.4	1.16	…	…	…	…
1914	3	…	8.7	1.15	…	…	…	…
1915	4	…	8.4	1.14	…	…	…	…
1916	5	…	8.1	1.13	…	…	…	…
1917	6	…	8.3	1.03	…	…	…	…
1918	7	…	9.1	1.03	…	…	…	…
1919	8	…	8.7	1.03	…	…	…	…
1920	9	…	9.8	0.99	…	…	…	…
1921	10	…	9.2	0.94	…	…	…	…
1922	11	…	9.0	0.92	…	…	…	…
1923	12	…	8.8	0.88	…	…	…	…
1924	13	…	8.7	0.88	…	…	…	…
1925	14	…	8.7	0.87	…	…	…	…
1926	昭和 元 年	…	8.3	0.83	…	…	…	…
1927	2	…	7.9	0.82	…	…	…	…
1928	3	…	8.0	0.78	…	…	…	…
1929	4	…	7.8	0.81	…	…	…	…
1930	5	…	7.9	0.80	…	…	…	…
1931	6	…	7.6	0.77	…	…	…	…
1932	7	…	7.8	0.77	…	…	…	…
1933	8	…	7.2	0.73	…	…	…	…
1934	9	…	7.5	0.71	…	…	…	…
1935	10	…	8.0	0.70	…	…	…	…
1936	11	…	7.8	0.66	…	…	…	…
1937	12	…	9.5	0.66	…	…	…	…
1938	13	…	7.6	0.63	…	…	…	…
1939	14	…	7.8	0.64	…	…	…	…
1940	15	…	9.3	0.68	…	…	…	…
1941	16	…	11.0	0.69	…	…	…	…
1942	17	…	9.4	0.64	…	…	…	…
1943	18	…	10.2	0.68	…	…	…	…
1947	22	…	12.0	1.02	4.54	23.6	18.3	…
1948	23	…	11.9	0.99	4.40	19.3	15.4	…
1949	24	…	10.3	1.01	4.32	18.9	15.0	…
1950	25	…	8.6	1.01	3.65	18.6	14.6	46.6
1951	26	…	7.9	0.97	3.26	16.9	13.4	46.7
1952	27	…	7.9	0.92	2.98	15.7	12.4	45.6
1953	28	…	7.8	0.86	2.69	16.4	12.6	46.0
1954	29	…	7.9	0.87	2.48	15.2	11.3	45.1
1955	30	…	8.0	0.84	2.37	14.8	11.0	43.9
1956	31	…	7.9	0.80	2.22	15.6	11.5	45.5
1957	32	…	8.5	0.79	2.04	16.3	11.8	45.0
1958	33	…	9.0	0.80	2.11	14.4	10.4	43.9
1959	34	…	9.1	0.78	2.04	14.4	10.2	43.0

注：＊印は概数である。
1)　昭和47年以前は沖縄県を含まない。
2)　周産期死亡率は、妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの）で除している。

年	次 1)	周産期死亡率2) (出産千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)	合計特殊出生率	年齢調整死亡率3) (人口千対) 男	年齢調整死亡率3) (人口千対) 女	(参考) 4) 周産期死亡率 (出生千対)
1960	35	…	9.3	0.74	2.00	14.8	10.4	41.4
1961	36	…	9.4	0.74	1.96	14.3	10.0	40.9
1962	37	…	9.8	0.75	1.98	14.6	10.0	38.7
1963	38	…	9.7	0.73	2.00	13.4	9.3	36.2
1964	39	…	9.9	0.74	2.05	13.2	9.1	33.1
1965	40	…	9.7	0.79	2.14	13.7	9.3	30.1
1966	41	…	9.5	0.80	1.58	12.7	8.7	31.3
1967	42	…	9.6	0.84	2.23	12.6	8.5	26.3
1968	43	…	9.5	0.87	2.13	12.5	8.4	24.5
1969	44	…	9.6	0.89	2.13	12.4	8.2	23.0
1970	45	…	10.0	0.93	2.13	12.3	8.2	21.7
1971	46	…	10.5	0.99	2.16	11.5	7.6	20.4
1972	47	…	10.4	1.02	2.14	11.2	7.4	19.0
1973	48	…	9.9	1.04	2.14	11.2	7.4	18.0
1974	49	…	9.1	1.04	2.05	10.9	7.2	16.9
1975	50	…	8.5	1.07	1.91	10.4	6.9	16.0
1976	51	…	7.8	1.11	1.85	10.1	6.6	14.8
1977	52	…	7.2	1.14	1.80	9.6	6.2	14.1
1978	53	…	6.9	1.15	1.79	9.4	6.0	13.0
1979	54	21.6	6.8	1.17	1.77	9.0	5.7	12.5
1980	55	20.2	6.7	1.22	1.75	9.2	5.8	11.7
1981	56	19.5	6.6	1.32	1.74	8.9	5.6	10.8
1982	57	18.3	6.6	1.39	1.77	8.5	5.2	10.1
1983	58	16.9	6.4	1.51	1.80	8.6	5.2	9.3
1984	59	16.6	6.2	1.50	1.81	8.3	5.0	8.7
1985	60	15.4	6.1	1.39	1.76	8.1	4.8	8.0
1986	61	14.6	5.9	1.37	1.72	7.8	4.6	7.3
1987	62	13.7	5.7	1.30	1.69	7.6	4.4	6.9
1988	63	12.7	5.8	1.26	1.66	7.7	4.5	6.5
1989	平成 元 年	12.1	5.8	1.29	1.57	7.4	4.2	6.0
1990	2	11.1	5.9	1.28	1.54	7.5	4.2	5.7
1991	3	8.5	6.0	1.37	1.53	7.4	4.1	5.3
1992	4	8.1	6.1	1.45	1.50	7.4	4.0	5.2
1993	5	7.7	6.4	1.52	1.46	7.3	4.0	5.0
1994	6	7.5	6.3	1.57	1.50	7.1	3.8	5.0
1995	7	7.0	6.4	1.60	1.42	7.2	3.8	4.7
1996	8	6.7	6.4	1.66	1.43	6.8	3.6	4.4
1997	9	6.4	6.2	1.78	1.39	6.7	3.5	4.2
1998	10	6.2	6.3	1.94	1.38	6.6	3.4	4.1
1999	11	6.0	6.1	2.00	1.34	6.7	3.4	4.0
2000	12	5.8	6.4	2.10	1.36	6.3	3.2	3.8
2001	13	5.5	6.4	2.27	1.33	6.2	3.1	3.6
2002	14	5.5	6.0	2.30	1.32	6.0	3.0	3.7
2003	15	5.3	5.9	2.25	1.29	6.0	3.0	3.6
2004	16	5.0	5.7	2.15	1.29	5.9	3.0	3.3
2005	17	4.8	5.7	2.08	1.26	5.9	3.0	3.3
2006	18	4.7	5.8	2.04	1.32	5.7	2.9	3.1
2007	19	4.5	5.7	2.02	1.34	5.6	2.8	3.0
2008	20	4.3	5.8	1.99	1.37	5.6	2.8	2.9
2009	21	4.2	5.6	2.01	1.37	5.4	2.7	2.9
2010	22	4.2	5.5	1.99	1.39	5.4	2.7	2.9
2011	23	4.1	5.2	1.87	1.39	5.5	2.9	2.8
2012	24	4.0	5.3	1.87	1.41	5.2	2.7	2.7
2013	25	3.7	5.3	1.84	1.43	5.1	2.7	2.6
2014	26	3.7	5.1	1.77	1.42	5.0	2.6	2.5
2015	27	3.7	5.1	1.81	1.45	4.9	2.6	2.6
2016	28	3.6	5.0	1.73	1.44	4.8	2.5	2.4
2017	29	3.5	4.9	1.70	1.43	4.7	2.5	2.4
2018	30	3.3	4.7	1.68	1.42	4.6	2.5	2.2
2019	令和 元 年	3.4	4.8	1.69	1.36	4.6	2.4	2.3
2020	＊ 2	3.2	4.3	1.57	1.34	…	…	2.2

注： 3) 年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口）にあてはめて算出した指標である。
4) （参考）周産期死亡率は、妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除している。

第３表　　出生数の年次推移，母の年齢（５歳階級）別

（単位：人）

母の年齢	昭和60年 (1985)	平成７年 ('95)	17 (2005)	27 ('15)	29 ('17)	30 ('18)	令和元年 ('19)	＊２ ('20)
総　数[1]	1 431 577	1 187 064	1 062 530	1 005 721	946 146	918 400	865 239	840 832
19歳以下	17 877	16 112	16 573	11 930	9 900	8 778	7 782	6 948
20～24	247 341	193 514	128 135	84 465	79 272	77 023	72 092	66 750
25～29	682 885	492 714	339 328	262 266	240 959	233 754	220 933	217 802
30～34	381 466	371 773	404 700	364 887	345 441	334 906	312 582	303 434
35～39	93 501	100 053	153 440	228 302	216 954	211 021	201 010	196 322
40～44	8 224	12 472	19 750	52 561	52 108	51 258	49 191	47 899
45歳以上	245	414	598	1 308	1 512	1 659	1 649	1 676

注：＊印は概数である。
　　1)総数には母の年齢不詳を含む。

第４表　　出生数の年次推移，出生順位別

（単位：人）

出生順位	昭和60年 (1985)	平成７年 ('95)	17 (2005)	27 ('15)	29 ('17)	30 ('18)	令和元年 ('19)	＊２ ('20)
総　　数	1 431 577	1 187 064	1 062 530	1 005 721	946 146	918 400	865 239	840 832
第　１　子	602 005	567 530	512 412	478 101	439 295	426 407	400 952	392 540
第　２　子	562 920	428 394	399 307	363 244	348 859	338 094	315 713	304 026
第３子以上	266 652	191 140	150 811	164 376	157 992	153 899	148 574	144 266

注：＊印は概数である。

第５表　死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（５歳階級）別

総　　数 (3-1)

年　齢	昭和60年 (1985)	平成７年 ('95)	17 (2005)	27 ('15)	29 ('17)	30 ('18)	令和元年 ('19)	＊２ ('20)
総　　数[1]	625.5	741.9	858.8	1 029.8	1 075.5	1 096.8	1 116.2	1 113.7
０～４歳	145.3	118.3	73.9	54.5	50.8	50.2	49.6	43.2
５～９	21.1	19.0	11.1	8.6	6.8	7.1	7.5	6.2
10～14	16.5	15.9	9.8	8.4	8.1	8.7	8.0	8.1
15～19	47.2	39.6	27.6	20.4	19.7	19.7	20.6	22.6
20～24	57.1	52.1	46.9	35.7	34.2	33.6	34.3	36.5
25～29	60.9	53.4	51.5	41.6	38.0	37.6	35.1	38.2
30～34	74.5	64.4	62.0	49.4	47.3	46.5	46.0	46.2
35～39	104.2	88.7	86.9	65.6	61.8	61.6	61.1	61.3
40～44	175.6	143.7	128.5	100.9	95.0	93.4	91.5	93.5
45～49	277.1	228.9	205.9	157.1	150.8	147.3	145.5	146.4
50～54	455.6	371.5	331.3	249.3	237.4	236.9	231.9	232.0
55～59	654.3	565.3	484.9	382.1	366.9	362.5	360.1	353.1
60～64	948.7	917.4	730.1	615.1	580.5	576.3	565.7	551.1
65～69	1 554.0	1 397.9	1 088.9	909.2	936.8	927.3	918.6	890.8
70～74	2 717.5	2 191.5	1 821.1	1 474.9	1 415.4	1 397.5	1 364.6	1 351.6
75～79	4 980.5	3 827.8	3 029.1	2 424.7	2 321.7	2 292.5	2 270.8	2 291.5
80～84	8 540.5	6 882.0	5 109.4	4 438.6	4 286.4	4 223.8	4 186.8	4 006.3
85～89	14 725.6	11 847.5	8 947.0	8 138.4	7 972.5	7 893.2	7 743.9	7 390.2
90～94[2]	23 364.8	21 468.2	15 167.7	14 503.4	14 149.8	14 042.8	13 965.7	13 342.0
95～99	…	…	23 894.8	25 150.2	25 767.8	24 876.8	24 408.4	22 677.2
100歳以上	…	…	37 771.1	40 204.4	41 503.0	41 049.3	42 149.3	39 420.0

注：＊印は概数である。
　1)　総数には年齢不詳を含む。
　2)　昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第５表　死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（５歳階級）別

男　(3-2)

年　齢	昭和60年 (1985)	平成７年 ('95)	17 (2005)	27 ('15)	29 ('17)	30 ('18)	令和元年 ('19)	＊２ ('20)
総　　数[1]	690.6	822.9	949.4	1 092.6	1 138.5	1 156.5	1 175.0	1 179.2
０～４歳	158.8	129.0	80.6	58.3	52.4	51.9	51.3	45.7
５～９	26.6	22.6	13.5	9.4	7.9	7.9	8.1	6.0
10～14	19.9	18.8	11.8	9.4	10.0	9.7	8.7	9.1
15～19	69.8	55.4	36.4	27.2	26.7	25.1	26.3	28.6
20～24	81.4	73.1	62.4	50.3	48.3	45.9	46.7	48.4
25～29	80.7	73.3	70.1	55.6	50.5	50.4	45.7	49.5
30～34	93.3	81.7	80.5	63.7	61.5	60.6	59.4	61.2
35～39	131.9	113.5	113.1	82.4	78.7	77.7	76.6	75.9
40～44	227.7	183.8	169.3	126.2	116.7	115.5	112.6	115.5
45～49	371.7	295.2	275.6	198.3	189.6	181.7	179.9	181.9
50～54	624.6	498.6	448.1	322.4	305.0	303.1	297.2	294.3
55～59	906.7	784.7	675.9	519.0	493.7	484.5	479.7	473.7
60～64	1 314.9	1 311.6	1 046.2	864.4	814.9	807.7	793.3	771.7
65～69	2 159.4	2 002.8	1 559.7	1 307.1	1 346.1	1 330.0	1 317.9	1 282.4
70～74	3 707.7	3 154.7	2 637.3	2 131.4	2 056.7	2 020.5	1 977.0	1 958.5
75～79	6 581.0	5 461.1	4 401.7	3 454.9	3 323.0	3 274.7	3 259.5	3 300.7
80～84	10 799.1	9 484.5	7 328.5	6 307.2	6 041.7	5 926.1	5 864.8	5 607.9
85～89	18 136.2	15 648.6	12 638.9	11 340.8	11 086.9	10 912.7	10 653.7	10 171.0
90～94[2]	25 429.3	26 734.7	20 217.3	19 240.8	18 838.9	18 580.7	18 383.6	17 564.2
95～99	…	…	30 937.2	31 381.2	32 642.9	31 290.8	29 693.1	27 629.9
100歳以上	…	…	46 157.9	44 767.4	45 411.1	44 733.3	45 188.9	42 787.6

注：＊印は概数である。
1)　総数には年齢不詳を含む。
2)　昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第５表　死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（５歳階級）別

女　(3-3)

年　齢	昭和60年 (1985)	平成７年 ('95)	17 (2005)	27 ('15)	29 ('17)	30 ('18)	令和元年 ('19)	＊２ ('20)
総　数[1]	562.7	664.0	772.3	970.2	1 015.7	1 040.3	1 060.5	1 051.7
０～４歳	131.2	107.2	66.9	50.5	49.1	48.5	47.8	40.5
５～９	15.3	15.2	8.6	7.7	5.6	6.3	6.9	6.4
10～14	13.1	12.9	7.8	7.5	6.1	7.6	7.4	7.0
15～19	23.7	22.9	18.4	13.2	12.2	14.0	14.6	16.4
20～24	31.8	30.2	30.5	20.4	19.3	20.7	21.1	23.9
25～29	40.7	32.8	32.2	26.9	24.8	24.2	23.9	26.4
30～34	55.6	46.6	43.1	34.7	32.6	32.0	32.0	30.5
35～39	76.0	63.5	60.2	48.1	44.4	45.0	45.1	46.2
40～44	124.1	103.2	86.9	74.6	72.6	70.5	69.6	70.7
45～49	184.6	162.1	135.8	114.8	110.8	111.9	110.0	109.8
50～54	289.7	246.8	214.9	175.2	168.6	169.4	165.3	168.5
55～59	414.9	353.7	297.4	246.0	240.3	240.3	240.1	232.1
60～64	663.0	548.9	430.7	373.2	352.1	350.6	343.2	335.5
65～69	1 106.4	864.2	659.0	536.1	553.3	549.9	543.5	521.7
70～74	1 998.4	1 513.4	1 130.4	903.1	850.5	845.3	818.3	809.0
75～79	3 871.3	2 814.8	1 998.0	1 604.0	1 513.6	1 497.2	1 470.9	1 476.0
80～84	7 165.7	5 429.7	3 870.6	3 187.7	3 079.2	3 039.3	3 008.0	2 868.8
85～89	13 067.1	10 072.4	7 364.1	6 501.1	6 328.2	6 276.6	6 158.1	5 846.3
90～94[2]	22 490.8	19 574.7	13 480.3	12 949.9	12 472.6	12 355.2	12 301.6	11 712.0
95～99	…	…	22 176.4	23 819.9	24 326.9	23 598.9	23 173.2	21 523.9
100歳以上	…	…	36 310.6	39 489.8	40 203.4	40 496.7	41 693.3	38 921.7

注：＊印は概数である。
　1)　総数には年齢不詳を含む。
　2)　昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第６表　死亡数・死亡率（人口10万対），死因簡単分類別（2-1）

死因簡単分類コード	死　　因	死亡数（人）		死亡率		死亡総数に占める割合(%)
		*令和２年(2020)	令和元年(2019)	*令和２年(2020)	令和元年(2019)	*令和２年(2020)
	総　　数	1 372 648	1 381 093	1 113.7	1 116.2	100.0
01000	感染症及び寄生虫症	22 124	23 544	18.0	19.0	1.6
01100	腸管感染症	2 152	2 267	1.7	1.8	0.2
01200	結　　核	1 909	2 087	1.5	1.7	0.1
01201	呼吸器結核	1 664	1 801	1.4	1.5	0.1
01202	その他の結核	245	286	0.2	0.2	0.0
01300	敗　血　症	9 799	10 217	8.0	8.3	0.7
01400	ウイルス性肝炎	2 201	2 657	1.8	2.1	0.2
01401	Ｂ型ウイルス性肝炎	353	336	0.3	0.3	0.0
01402	Ｃ型ウイルス性肝炎	1 686	2 122	1.4	1.7	0.1
01403	その他のウイルス性肝炎	162	199	0.1	0.2	0.0
01500	ヒト免疫不全ウイルス［ＨＩＶ］病	49	41	0.0	0.0	0.0
01600	その他の感染症及び寄生虫症	6 014	6 275	4.9	5.1	0.4
02000	新　生　物＜腫瘍＞	391 518	389 867	317.7	315.1	28.5
02100	悪性新生物＜腫瘍＞	378 356	376 425	307.0	304.2	27.6
02101	口唇，口腔及び咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞	7 826	7 764	6.3	6.3	0.6
02102	食道の悪性新生物＜腫瘍＞	10 978	11 619	8.9	9.4	0.8
02103	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	42 318	42 931	34.3	34.7	3.1
02104	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	36 204	35 599	29.4	28.8	2.6
02105	直腸Ｓ状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	15 580	15 821	12.6	12.8	1.1
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	24 839	25 264	20.2	20.4	1.8
02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物＜腫瘍＞	17 772	17 924	14.4	14.5	1.3
02108	膵の悪性新生物＜腫瘍＞	37 674	36 356	30.6	29.4	2.7
02109	喉頭の悪性新生物＜腫瘍＞	781	863	0.6	0.7	0.1
02110	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	75 581	75 394	61.3	60.9	5.5
02111	皮膚の悪性新生物＜腫瘍＞	1 707	1 702	1.4	1.4	0.1
02112	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	14 779	14 935	12.0	12.1	1.1
02113	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞ 1)	6 806	6 804	10.7	10.7	0.5
02114	卵巣の悪性新生物＜腫瘍＞ 1)	4 875	4 733	7.7	7.5	0.4
02115	前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞ 2)	12 758	12 544	21.3	20.8	0.9
02116	膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞	9 166	8 911	7.4	7.2	0.7
02117	中枢神経系の悪性新生物＜腫瘍＞	2 847	2 877	2.3	2.3	0.2
02118	悪性リンパ腫	13 995	13 235	11.4	10.7	1.0

注：＊印は概数である。
1) 死亡率は、女性人口10万に対する率である。
2) 死亡率は、男性人口10万に対する率である。

死因簡単分類コード	死　　因	死亡数（人）		死亡率		死亡総数に占める割合(%)
		*令和２年(2020)	令和元年(2019)	*令和２年(2020)	令和元年(2019)	*令和２年(2020)
02119	白　血　病	8 983	8 839	7.3	7.1	0.7
02120	その他のリンパ組織，造血組織及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞	4 295	4 429	3.5	3.6	0.3
02121	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	28 592	27 881	23.2	22.5	2.1
02200	その他の新生物＜腫瘍＞	13 162	13 442	10.7	10.9	1.0
02201	中枢神経系のその他の新生物＜腫瘍＞	2 586	2 636	2.1	2.1	0.2
02202	中枢神経系を除くその他の新生物＜腫瘍＞	10 576	10 806	8.6	8.7	0.8
03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4 296	4 454	3.5	3.6	0.3
03100	貧　　血	2 232	2 195	1.8	1.8	0.2
03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2 064	2 259	1.7	1.8	0.2
04000	内分泌，栄養及び代謝疾患	22 427	22 144	18.2	17.9	1.6
04100	糖　尿　病	13 891	13 846	11.3	11.2	1.0
04200	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	8 536	8 298	6.9	6.7	0.6
05000	精神及び行動の障害	23 110	23 542	18.8	19.0	1.7
05100	血管性及び詳細不明の認知症	20 811	21 394	16.9	17.3	1.5
05200	その他の精神及び行動の障害	2 299	2 148	1.9	1.7	0.2
06000	神経系の疾患	51 260	51 117	41.6	41.3	3.7
06100	髄　膜　炎	287	272	0.2	0.2	0.0
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	2 611	2 660	2.1	2.1	0.2
06300	パーキンソン病	11 213	11 204	9.1	9.1	0.8
06400	アルツハイマー病	20 852	20 730	16.9	16.8	1.5
06500	その他の神経系の疾患	16 297	16 251	13.2	13.1	1.2
07000	眼及び付属器の疾患	8	2	0.0	0.0	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	25	15	0.0	0.0	0.0
09000	循環器系の疾患	345 356	350 505	280.2	283.3	25.2
09100	高血圧性疾患	9 997	9 549	8.1	7.7	0.7
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	5 475	5 601	4.4	4.5	0.4
09102	その他の高血圧性疾患	4 522	3 948	3.7	3.2	0.3
09200	心疾患（高血圧性を除く）	205 518	207 714	166.7	167.9	15.0
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 005	2 045	1.6	1.7	0.1
09202	急性心筋梗塞	30 524	31 527	24.8	25.5	2.2
09203	その他の虚血性心疾患	36 738	35 799	29.8	28.9	2.7
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	11 797	11 783	9.6	9.5	0.9
09205	心　筋　症	3 651	3 798	3.0	3.1	0.3
09206	不整脈及び伝導障害	30 986	31 261	25.1	25.3	2.3
09207	心　不　全	84 068	85 565	68.2	69.2	6.1
09208	その他の心疾患	5 749	5 936	4.7	4.8	0.4

第６表　死亡数・死亡率（人口10万対），死因簡単分類別（2-2）

死因簡単分類コード	死　　因	死亡数（人）		死亡率		死亡総数に占める割合(%)
		*令和２年(2020)	令和元年(2019)	*令和２年(2020)	令和元年(2019)	*令和２年(2020)
09300	脳血管疾患	102 956	106 552	83.5	86.1	7.5
09301	くも膜下出血	11 408	11 731	9.3	9.5	0.8
09302	脳内出血	31 985	32 776	26.0	26.5	2.3
09303	脳　梗　塞	56 860	59 267	46.1	47.9	4.1
09304	その他の脳血管疾患	2 703	2 778	2.2	2.2	0.2
09400	大動脈瘤及び解離	18 784	18 830	15.2	15.2	1.4
09500	その他の循環器系の疾患	8 101	7 860	6.6	6.4	0.6
10000	呼吸器系の疾患	172 704	193 234	140.1	156.2	12.6
10100	インフルエンザ	954	3 575	0.8	2.9	0.1
10200	肺　　炎	78 445	95 518	63.6	77.2	5.7
10300	急性気管支炎	237	371	0.2	0.3	0.0
10400	慢性閉塞性肺疾患	16 127	17 836	13.1	14.4	1.2
10500	喘　　息	1 157	1 481	0.9	1.2	0.1
10600	その他の呼吸器系の疾患	75 784	74 453	61.5	60.2	5.5
10601	誤嚥性肺炎	42 746	40 385	34.7	32.6	3.1
10602	間質性肺疾患	19 215	19 488	15.6	15.8	1.4
10603	その他の呼吸器系の疾患（10601及び10602を除く）	13 823	14 580	11.2	11.8	1.0
11000	消化器系の疾患	53 848	52 742	43.7	42.6	3.9
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	2 263	2 499	1.8	2.0	0.2
11200	ヘルニア及び腸閉塞	7 439	7 127	6.0	5.8	0.5
11300	肝　疾　患	17 675	17 273	14.3	14.0	1.3
11301	肝　硬　変（アルコール性を除く）	8 049	8 088	6.5	6.5	0.6
11302	その他の肝疾患	9 626	9 185	7.8	7.4	0.7
11400	その他の消化器系の疾患	26 471	25 843	21.5	20.9	1.9
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	2 821	2 682	2.3	2.2	0.2
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	8 998	8 996	7.3	7.3	0.7
14000	腎尿路生殖器系の疾患	42 499	40 946	34.5	33.1	3.1
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	5 231	4 806	4.2	3.9	0.4
14200	腎　不　全	26 946	26 644	21.9	21.5	2.0
14201	急性腎不全	2 650	2 596	2.2	2.1	0.2
14202	慢性腎臓病	19 826	19 534	16.1	15.8	1.4
14203	詳細不明の腎不全	4 470	4 514	3.6	3.6	0.3
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	10 322	9 496	8.4	7.7	0.8

注：＊印は概数である。

死因簡単分類コード	死　　因	死亡数（人）		死亡率		死亡総数に占める割合(%)
		*令和２年(2020)	令和元年(2019)	*令和２年(2020)	令和元年(2019)	*令和２年(2020)
15000	妊娠，分娩及び産じょく[1]	21	32	0.0	0.1	0.0
16000	周産期に発生した病態	439	454	0.4	0.4	0.0
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	53	39	0.0	0.0	0.0
16200	出産外傷	4	9	0.0	0.0	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	236	250	0.2	0.2	0.0
16400	周産期に特異的な感染症	24	30	0.0	0.0	0.0
16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	63	56	0.1	0.0	0.0
16600	その他の周産期に発生した病態	59	70	0.0	0.1	0.0
17000	先天奇形，変形及び染色体異常	1 866	2 076	1.5	1.7	0.1
17100	神経系の先天奇形	76	92	0.1	0.1	0.0
17200	循環器系の先天奇形	745	822	0.6	0.7	0.1
17201	心臓の先天奇形	478	540	0.4	0.4	0.0
17202	その他の循環器系の先天奇形	267	282	0.2	0.2	0.0
17300	消化器系の先天奇形	92	107	0.1	0.1	0.0
17400	その他の先天奇形及び変形	525	597	0.4	0.5	0.0
17500	染色体異常，他に分類されないもの	428	458	0.3	0.4	0.0
18000	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	159 732	148 027	129.6	119.6	11.6
18100	老　　衰	132 435	121 863	107.5	98.5	9.6
18200	乳幼児突然死症候群	84	78	0.1	0.1	0.0
18300	その他の症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	27 213	26 086	22.1	21.1	2.0
20000	傷病及び死亡の外因	66 130	66 714	53.7	53.9	4.8
20100	不慮の事故	38 069	39 184	30.9	31.7	2.8
20101	交通事故	3 713	4 279	3.0	3.5	0.3
20102	転倒・転落・墜落	9 581	9 580	7.8	7.7	0.7
20103	不慮の溺死及び溺水	7 323	7 690	5.9	6.2	0.5
20104	不慮の窒息	7 828	8 095	6.4	6.5	0.6
20105	煙，火及び火炎への曝露	902	1 004	0.7	0.8	0.1
20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	472	545	0.4	0.4	0.0
20107	その他の不慮の事故	8 250	7 991	6.7	6.5	0.6
20200	自　　殺	20 222	19 425	16.4	15.7	1.5
20300	他　　殺	250	299	0.2	0.2	0.0
20400	その他の外因	7 589	7 806	6.2	6.3	0.6
22000	特殊目的用コード	3 466	－	2.8	－	0.3
22100	重症急性呼吸器症候群［SARS］	－	－	－	－	－
22200	その他の特殊目的用コード	3 466	－	2.8	－	0.3

注：1)死亡率は、女性人口10万に対する率である。

総　数 (3-1)

年　齢	第１位			第２位			第３位		
	死　　因	死亡数（人）	死亡率	死　　因	死亡数（人）	死亡率	死　　因	死亡数（人）	死亡率
総　数[2]	悪性新生物〈腫瘍〉	378 356	307.0	心　疾　患	205 518	166.7	老　衰	132 435	107.5
0 歳[3]	先天奇形等	545	64.8	呼吸障害等	230	27.4	乳幼児突然死症候群	81	9.6
1～4	先天奇形等	85	2.3	悪性新生物〈腫瘍〉	60	1.6	不慮の事故	57	1.5
5～9	悪性新生物〈腫瘍〉	77	1.6	不慮の事故	49	1.0	先天奇形等	30	0.6
10～14	自　殺	122	2.3	悪性新生物〈腫瘍〉	82	1.6	不慮の事故	53	1.0
15～19	自　殺	639	11.4	不慮の事故	230	4.1	悪性新生物〈腫瘍〉	111	2.0
20～24	自　殺	1 242	20.8	不慮の事故	285	4.8	悪性新生物〈腫瘍〉	152	2.5
25～29	自　殺	1 172	19.9	悪性新生物〈腫瘍〉	235	4.0	不慮の事故	215	3.7
30～34	自　殺	1 190	19.0	悪性新生物〈腫瘍〉	495	7.9	不慮の事故	249	4.0
35～39	自　殺	1 320	18.4	悪性新生物〈腫瘍〉	1 012	14.1	心　疾　患	369	5.1
40～44	悪性新生物〈腫瘍〉	2 140	26.1	自　殺	1 575	19.2	心　疾　患	854	10.4
45～49	悪性新生物〈腫瘍〉	4 551	47.2	自　殺	1 842	19.1	心　疾　患	1 727	17.9
50～54	悪性新生物〈腫瘍〉	7 262	85.1	心　疾　患	2 572	30.1	自　殺	1 740	20.4
55～59	悪性新生物〈腫瘍〉	11 456	147.1	心　疾　患	3 583	46.0	脳血管疾患	2 003	25.7
60～64	悪性新生物〈腫瘍〉	18 253	248.4	心　疾　患	4 978	67.7	脳血管疾患	2 782	37.9
65～69	悪性新生物〈腫瘍〉	34 316	419.1	心　疾　患	8 802	107.5	脳血管疾患	4 753	58.0
70～74	悪性新生物〈腫瘍〉	56 035	610.5	心　疾　患	15 163	165.2	脳血管疾患	8 394	91.5
75～79	悪性新生物〈腫瘍〉	62 687	886.1	心　疾　患	20 983	296.6	脳血管疾患	11 855	167.6
80～84	悪性新生物〈腫瘍〉	66 158	1 224.3	心　疾　患	30 750	569.0	脳血管疾患	17 032	315.2
85～89	悪性新生物〈腫瘍〉	63 184	1 688.8	心　疾　患	44 480	1 188.9	老　衰	26 911	719.3
90～94	心　疾　患	43 764	2 381.2	老　衰	43 541	2 369.1	悪性新生物〈腫瘍〉	37 580	2 044.7
95～99	老　衰	33 610	6 384.8	心　疾　患	21 977	4 174.9	悪性新生物〈腫瘍〉	11 072	2 103.3
100歳以上	老　衰	13 018	17 021.7	心　疾　患	4 893	6 397.8	肺　炎	1 968	2 573.3

注：1)　〔1〕 乳児（０歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。
〔2〕 死因名は次のように略称で表記している。
心疾患←心疾患（高血圧性を除く）
先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常
呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害
出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害
妊娠期間等に関連する障害←妊娠期間及び胎児発育に関連する障害
〔3〕 死因順位は死亡数の多いものから定めた。死亡数が同数の場合は、同一順位に死因名を列記した。
2)　総数には年齢不詳を含む。
3)　０歳の死亡率は出生10万に対する率である。

年齢（５歳階級）・死因順位[1] 別

令和２年(2020)

第４位			第５位			年　齢
死　因	死亡数（人）	死亡率	死　因	死亡数（人）	死亡率	
脳血管疾患	102 956	83.5	肺炎	78 445	63.6	総　数[2]
出血性障害等	62	7.4	不慮の事故	58	6.9	0 歳[3]
心疾患	21	0.6	インフルエンザ	19	0.5	1～4
心疾患	20	0.4	インフルエンザ	11	0.2	5～9
心疾患	27	0.5	先天奇形等	22	0.4	10～14
心疾患	46	0.8	先天奇形等	23	0.4	15～19
心疾患	83	1.4	先天奇形等	27	0.5	20～24
心疾患	135	2.3	脳血管疾患	52	0.9	25～29
心疾患	205	3.3	脳血管疾患	92	1.5	30～34
不慮の事故	277	3.9	脳血管疾患	267	3.7	35～39
脳血管疾患	657	8.0	肝疾患	435	5.3	40～44
脳血管疾患	1 314	13.6	肝疾患	826	8.6	45～49
脳血管疾患	1 736	20.3	肝疾患	1 093	12.8	50～54
自殺	1 574	20.2	肝疾患	1 345	17.3	55～59
肝疾患	1 539	20.9	自殺	1 386	18.9	60～64
不慮の事故	2 104	25.7	肝疾患	1 972	24.1	65～69
肺炎	4 130	45.0	不慮の事故	3 406	37.1	70～74
肺炎	7 562	106.9	不慮の事故	4 705	66.5	75～79
肺炎	13 114	242.7	老衰	10 924	202.2	80～84
脳血管疾患	22 549	602.7	肺炎	20 077	536.6	85～89
脳血管疾患	19 075	1 037.9	肺炎	18 977	1 032.5	90～94
肺炎	8 880	1 686.9	脳血管疾患	8 581	1 630.1	95～99
脳血管疾患	1 740	2 275.1	悪性新生物〈腫瘍〉	1 402	1 833.2	100歳以上

男　(3-2)

年　齢	第１位			第２位			第３位		
	死　　因	死亡数（人）	死亡率	死　　因	死亡数（人）	死亡率	死　　因	死亡数（人）	死亡率
総　数[2]	悪性新生物〈腫瘍〉	220 965	368.7	心　疾　患	99 247	165.6	脳血管疾患	50 376	84.0
0 歳[3]	先天奇形等	253	58.7	呼吸障害等	129	30.0	乳幼児突然死症候群	49	11.4
1～4	先天奇形等	47	2.5	不慮の事故	37	1.9	悪性新生物〈腫瘍〉	34	1.8
5～9	悪性新生物〈腫瘍〉	38	1.5	不慮の事故	31	1.2	先天奇形等	14	0.6
10～14	自殺	64	2.4	悪性新生物〈腫瘍〉	40	1.5	不慮の事故	35	1.3
15～19	自殺	397	13.9	不慮の事故	177	6.2	悪性新生物〈腫瘍〉	70	2.4
20～24	自殺	829	27.0	不慮の事故	229	7.5	悪性新生物〈腫瘍〉	97	3.2
25～29	自殺	787	26.1	不慮の事故	161	5.3	悪性新生物〈腫瘍〉	138	4.6
30～34	自殺	858	26.8	悪性新生物〈腫瘍〉	232	7.2	不慮の事故	201	6.3
35～39	自殺	932	25.6	悪性新生物〈腫瘍〉	406	11.2	心疾患	277	7.6
40～44	自殺	1 128	27.0	悪性新生物〈腫瘍〉	852	20.4	心疾患	658	15.8
45～49	悪性新生物〈腫瘍〉	1 946	39.8	心疾患	1 405	28.8	自殺	1 261	25.8
50～54	悪性新生物〈腫瘍〉	3 421	79.4	心疾患	2 098	48.7	自殺	1 195	27.7
55～59	悪性新生物〈腫瘍〉	6 240	160.0	心疾患	3 003	77.0	脳血管疾患	1 389	35.6
60～64	悪性新生物〈腫瘍〉	11 223	309.0	心疾患	3 989	109.8	脳血管疾患	1 962	54.0
65～69	悪性新生物〈腫瘍〉	22 588	568.7	心疾患	6 751	170.0	脳血管疾患	3 384	85.2
70～74	悪性新生物〈腫瘍〉	37 319	861.4	心疾患	10 796	249.2	脳血管疾患	5 759	132.9
75～79	悪性新生物〈腫瘍〉	40 942	1 295.0	心疾患	13 220	418.1	脳血管疾患	7 462	236.0
80～84	悪性新生物〈腫瘍〉	40 278	1 794.8	心疾患	16 739	745.9	脳血管疾患	9 417	419.6
85～89	悪性新生物〈腫瘍〉	34 325	2 570.0	心疾患	19 975	1 495.6	肺炎	11 956	895.2
90～94	悪性新生物〈腫瘍〉	16 849	3 291.5	心疾患	14 512	2 834.9	老衰	11 489	2 244.4
95～99	老衰	5 694	5 726.9	心疾患	4 638	4 664.8	悪性新生物〈腫瘍〉	3 604	3 624.8
100歳以上	老衰	1 486	15 074.1	心疾患	714	7 242.8	肺炎	422	4 280.8

注：1)　〔1〕　乳児（０歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。
〔2〕　死因名は次のように略称で表記している。
心疾患←心疾患（高血圧性を除く）
先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常
呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害
出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害
妊娠期間等に関連する障害←妊娠期間及び胎児発育に関連する障害
〔3〕　死因順位は死亡数の多いものから定めた。死亡数が同数の場合は、同一順位に死因名を列記した。
2)　総数には年齢不詳を含む。
3)　０歳の死亡率は出生10万に対する率である。

年齢（5歳階級）・死因順位[1] 別

令和２年(2020)

第４位			第５位			年　齢
死　　因	死亡数（人）	死亡率	死　　因	死亡数（人）	死亡率	
肺　　炎	44 898	74.9	老　　衰	35 777	59.7	総　数[2]
出血性障害等	36	8.4	不慮の事故	35	8.1	0 歳[3]
インフルエンザ	13	0.7	心　疾　患	12	0.6	1～4
心　疾　患	8	0.3	敗血症 インフルエンザ	5	0.2	5～9
心　疾　患	21	0.8	先天奇形等	13	0.5	10～14
心　疾　患	34	1.2	先天奇形等	14	0.5	15～19
心　疾　患	68	2.2	脳血管疾患	18	0.6	20～24
心　疾　患	104	3.5	脳血管疾患	32	1.1	25～29
心　疾　患	171	5.3	脳血管疾患	63	2.0	30～34
不慮の事故	207	5.7	脳血管疾患	188	5.2	35～39
脳血管疾患	460	11.0	肝　疾　患	328	7.9	40～44
脳血管疾患	875	17.9	肝　疾　患	631	12.9	45～49
脳血管疾患	1 143	26.5	肝　疾　患	888	20.6	50～54
肝　疾　患	1 114	28.6	自　　殺	1 105	28.3	55～59
肝　疾　患	1 237	34.1	自　　殺	957	26.3	60～64
不慮の事故	1 545	38.9	肝　疾　患	1 522	38.3	65～69
肺　　炎	3 192	73.7	不慮の事故	2 312	53.4	70～74
肺　　炎	5 512	174.3	不慮の事故	2 945	93.1	75～79
肺　　炎	8 827	393.3	誤嚥性肺炎	5 007	223.1	80～84
脳血管疾患	10 234	766.2	老　　衰	9 653	722.7	85～89
肺　　炎	9 112	1 780.0	脳血管疾患	6 128	1 197.1	90～94
肺　　炎	2 941	2 958.0	誤嚥性肺炎	1 921	1 932.1	95～99
悪性新生物〈腫瘍〉	299	3 033.1	誤嚥性肺炎	241	2 444.7	100歳以上

女　(3-3)

年　齢	第１位			第２位			第３位		
	死　　因	死亡数（人）	死亡率	死　　因	死亡数（人）	死亡率	死　　因	死亡数（人）	死亡率
総　数[2]	悪性新生物〈腫瘍〉	157 391	248.6	心　疾　患	106 271	167.8	老　衰	96 658	152.7
0 歳[3]	先天奇形等	292	71.2	呼吸障害等	101	24.6	乳幼児突然死症候群	32	7.8
1～4	先天奇形等	38	2.1	悪性新生物〈腫瘍〉	26	1.4	不慮の事故	20	1.1
5～9	悪性新生物〈腫瘍〉	39	1.6	不慮の事故	18	0.7	先天奇形等	16	0.7
10～14	自　殺	58	2.3	悪性新生物〈腫瘍〉	42	1.6	不慮の事故	18	0.7
15～19	自　殺	242	8.9	不慮の事故	53	1.9	悪性新生物〈腫瘍〉	41	1.5
20～24	自　殺	413	14.2	不慮の事故	56	1.9	悪性新生物〈腫瘍〉	55	1.9
25～29	自　殺	385	13.4	悪性新生物〈腫瘍〉	97	3.4	不慮の事故	54	1.9
30～34	自　殺	332	10.8	悪性新生物〈腫瘍〉	263	8.5	不慮の事故	48	1.6
35～39	悪性新生物〈腫瘍〉	606	17.2	自　殺	388	11.0	心　疾　患	92	2.6
40～44	悪性新生物〈腫瘍〉	1 288	31.9	自　殺	447	11.1	脳血管疾患	197	4.9
45～49	悪性新生物〈腫瘍〉	2 605	54.9	自　殺	581	12.2	脳血管疾患	439	9.2
50～54	悪性新生物〈腫瘍〉	3 841	90.9	脳血管疾患	593	14.0	自　殺	545	12.9
55～59	悪性新生物〈腫瘍〉	5 216	134.2	脳血管疾患	614	15.8	心　疾　患	580	14.9
60～64	悪性新生物〈腫瘍〉	7 030	189.2	心　疾　患	989	26.6	脳血管疾患	820	22.1
65～69	悪性新生物〈腫瘍〉	11 728	278.2	心　疾　患	2 051	48.6	脳血管疾患	1 369	32.5
70～74	悪性新生物〈腫瘍〉	18 716	386.2	心　疾　患	4 367	90.1	脳血管疾患	2 635	54.4
75～79	悪性新生物〈腫瘍〉	21 745	555.8	心　疾　患	7 763	198.4	脳血管疾患	4 393	112.3
80～84	悪性新生物〈腫瘍〉	25 880	819.1	心　疾　患	14 011	443.4	脳血管疾患	7 615	241.0
85～89	悪性新生物〈腫瘍〉	28 859	1 199.6	心　疾　患	24 505	1 018.6	老　衰	17 258	717.4
90～94	老　衰	32 052	2 417.2	心　疾　患	29 252	2 206.0	悪性新生物〈腫瘍〉	20 731	1 563.4
95～99	老　衰	27 916	6 537.9	心　疾　患	17 339	4 060.8	悪性新生物〈腫瘍〉	7 468	1 749.0
100歳以上	老　衰	11 532	17 309.9	心　疾　患	4 179	6 272.8	肺　炎	1 546	2 320.6

注：1)　〔1〕 乳児（０歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。
〔2〕 死因名は次のように略称で表記している。
心疾患←心疾患（高血圧性を除く）
先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常
呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害
出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害
妊娠期間等に関連する障害←妊娠期間及び胎児発育に関連する障害
〔3〕 死因順位は死亡数の多いものから定めた。死亡数が同数の場合は、同一順位に死因名を列記した。
2)　総数には年齢不詳を含む。
3)　０歳の死亡率は出生10万に対する率である。

年齢（5歳階級）・死因順位[1] 別

令和２年(2020)

第４位			第５位			年　齢
死　因	死亡数（人）	死亡率	死　因	死亡数（人）	死亡率	
脳血管疾患	52 580	83.0	肺炎	33 547	53.0	総　数[2]
妊娠期間等に関連する障害	28	6.8	出血性障害等	26	6.3	0 歳[3]
心疾患	9	0.5	インフルエンザ	6	0.3	1～4
心疾患	12	0.5	その他の新生物〈腫瘍〉 インフルエンザ	6	0.2	5～9
先天奇形等	9	0.3	脳血管疾患	8	0.3	10～14
心疾患	12	0.4	先天奇形等	9	0.3	15～19
心疾患	15	0.5	先天奇形等	14	0.5	20～24
心疾患	31	1.1	脳血管疾患	20	0.7	25～29
心疾患	34	1.1	脳血管疾患	29	0.9	30～34
脳血管疾患	79	2.2	不慮の事故	70	2.0	35～39
心疾患	196	4.9	肝疾患	107	2.6	40～44
心疾患	322	6.8	肝疾患	195	4.1	45～49
心疾患	474	11.2	肝疾患	205	4.8	50～54
自殺	469	12.1	肝疾患	231	5.9	55～59
自殺	429	11.5	肝疾患	302	8.1	60～64
不慮の事故	559	13.3	肝疾患 自殺	450	10.7	65～69
不慮の事故	1 094	22.6	肺炎	938	19.4	70～74
肺炎	2 050	52.4	不慮の事故	1 760	45.0	75～79
老衰	5 957	188.5	肺炎	4 287	135.7	80～84
脳血管疾患	12 315	511.9	肺炎	8 121	337.6	85～89
脳血管疾患	12 947	976.4	肺炎	9 865	744.0	90～94
脳血管疾患	6 963	1 630.7	肺炎	5 939	1 390.9	95～99
脳血管疾患	1 524	2 287.6	悪性新生物〈腫瘍〉	1 103	1 655.6	100歳以上

第８表　人口動態総覧，都道府県（特別区－指定都市再掲）別

都道府県[1]	出生数			死亡数			（再掲）			
							乳児死亡数			新生児死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
全国	840 832	430 710	410 122	1 372 648	706 750	665 898	1 512	800	712	704
北海道	29 523	15 187	14 336	65 070	32 787	32 283	59	29	30	25
青森	6 837	3 493	3 344	17 905	8 942	8 963	18	11	7	15
岩手	6 718	3 415	3 303	17 205	8 443	8 762	8	6	2	3
宮城	14 480	7 400	7 080	24 631	12 453	12 178	27	11	16	15
秋田	4 499	2 293	2 206	15 377	7 619	7 758	9	8	1	4
山形	6 217	3 224	2 993	15 348	7 381	7 967	14	8	6	9
福島	11 215	5 737	5 478	24 512	12 227	12 285	28	15	13	11
茨城	17 389	8 820	8 569	32 923	17 433	15 490	45	22	23	14
栃木	11 807	6 151	5 656	21 702	11 155	10 547	25	14	11	13
群馬	11 660	6 008	5 652	23 284	12 042	11 242	18	6	12	10
埼玉	47 327	24 136	23 191	70 755	38 641	32 114	75	36	39	32
千葉	40 168	20 470	19 698	62 101	33 785	28 316	84	42	42	40
東京	99 661	51 169	48 492	121 137	63 444	57 693	135	65	70	61
神奈川	60 865	31 276	29 589	84 591	45 354	39 237	96	52	44	51
新潟	12 980	6 615	6 365	29 455	14 652	14 803	20	10	10	11
富山	6 256	3 236	3 020	12 980	6 403	6 577	11	6	5	5
石川	7 712	3 973	3 739	12 715	6 380	6 335	13	6	7	6
福井	5 313	2 678	2 635	9 286	4 644	4 642	24	9	15	14
山梨	5 184	2 652	2 532	9 793	4 982	4 811	11	9	2	7
長野	12 864	6 560	6 304	25 426	12 672	12 754	26	20	6	15
岐阜	12 092	6 204	5 888	22 719	11 504	11 215	22	14	8	10
静岡	22 497	11 509	10 988	42 191	21 839	20 352	46	25	21	22
愛知	55 613	28 610	27 003	70 492	37 674	32 818	95	58	37	48
三重	11 141	5 809	5 332	20 716	10 502	10 214	27	14	13	14
滋賀	10 437	5 363	5 074	13 036	6 658	6 378	19	8	11	11
京都	16 440	8 363	8 077	26 842	13 707	13 135	21	10	11	6
大阪	61 878	31 745	30 133	91 640	49 007	42 633	112	63	49	46
兵庫	36 952	18 807	18 145	58 654	30 259	28 395	62	40	22	25
奈良	7 831	4 021	3 810	14 678	7 526	7 152	13	6	7	6
和歌山	5 732	2 933	2 799	12 610	6 243	6 367	8	3	5	2
鳥取	3 783	1 949	1 834	7 096	3 464	3 632	5	2	3	2
島根	4 473	2 290	2 183	9 585	4 581	5 004	12	6	6	8
岡山	13 521	6 917	6 604	21 788	10 995	10 793	20	13	7	8
広島	19 606	10 104	9 502	30 242	15 256	14 986	30	13	17	13
山口	8 203	4 184	4 019	18 477	9 146	9 331	12	7	5	4
徳島	4 521	2 337	2 184	9 886	4 815	5 071	16	10	6	9
香川	6 179	3 105	3 074	12 183	6 138	6 045	9	5	4	5
愛媛	8 102	4 265	3 837	18 025	8 780	9 245	7	－	7	3
高知	4 082	2 044	2 038	9 995	4 915	5 080	11	4	7	4
福岡	38 967	19 783	19 184	53 272	26 485	26 787	71	37	34	32
佐賀	6 004	3 091	2 913	9 963	4 831	5 132	11	9	2	6
長崎	9 182	4 715	4 467	17 646	8 500	9 146	22	12	10	11
熊本	13 011	6 662	6 349	21 155	10 367	10 788	22	11	11	8
大分	7 582	3 858	3 724	14 444	7 137	7 307	13	8	5	7
宮崎	7 719	3 922	3 797	14 140	7 006	7 134	17	8	9	7
鹿児島	11 638	5 974	5 664	21 499	10 396	11 103	24	8	16	7
沖縄	14 943	7 637	7 306	12 390	6 703	5 687	39	21	18	19
外国	28	16	12	120	82	38	－	－	－	－
不詳	・	・	・	968	795	173	－	－	－	－
（再掲）										
東京都区部	72 621	37 174	35 447	80 876	42 286	38 590	97	48	49	40
札幌市	12 259	6 310	5 949	20 261	10 077	10 184	20	12	8	7
仙台市	7 843	4 097	3 746	9 164	4 716	4 448	15	7	8	8
さいたま市	10 005	5 061	4 944	11 217	5 967	5 250	9	3	6	6
千葉市	5 976	3 063	2 913	9 349	5 208	4 141	15	8	7	8
横浜市	24 828	12 742	12 086	33 617	17 948	15 669	42	21	21	28
川崎市	12 480	6 399	6 081	11 589	6 408	5 181	18	10	8	8
相模原市	4 563	2 329	2 234	6 670	3 651	3 019	8	6	2	6
新潟市	5 154	2 651	2 503	8 974	4 500	4 474	4	1	3	2
静岡市	4 254	2 183	2 071	8 239	4 232	4 007	8	6	2	6
浜松市	5 365	2 749	2 616	8 454	4 378	4 076	12	5	7	4
名古屋市	17 538	9 001	8 537	23 099	12 194	10 905	23	10	13	13
京都市	9 251	4 707	4 544	14 862	7 493	7 369	15	7	8	4
大阪市	20 152	10 291	9 861	29 600	16 161	13 439	44	24	20	19
堺市	5 827	3 009	2 818	8 721	4 674	4 047	9	5	4	3
神戸市	9 765	5 010	4 755	15 870	8 144	7 726	19	16	3	5
岡山市	5 627	2 822	2 805	6 786	3 418	3 368	5	4	1	2
広島市	9 179	4 730	4 449	10 296	5 349	4 947	14	5	9	7
北九州市	6 459	3 244	3 215	11 256	5 663	5 593	13	6	7	6
福岡市	13 079	6 642	6 437	12 588	6 293	6 295	25	14	11	13
熊本市	6 101	3 129	2 972	7 090	3 515	3 575	16	8	8	7

注：1）　都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

自然増減数	死産数 総数	死産数 自然死産	死産数 人工死産	周産期死亡数 総数	周産期死亡数 妊娠満22週以後の死産	周産期死亡数 早期新生児死亡	婚姻件数	離婚件数	都道府県[1]
△ 531 816	17 286	8 192	9 094	2 674	2 122	552	525 490	193 251	全国
△ 35 547	729	304	425	93	76	17	20 902	9 070	北海道
△ 11 068	145	87	58	32	17	15	4 032	1 915	青森
△ 10 487	150	90	60	21	19	2	3 918	1 679	岩手
△ 10 151	311	141	170	56	41	15	8 921	3 553	宮城
△ 10 878	98	63	35	18	15	3	2 686	1 213	秋田
△ 9 131	119	66	53	22	16	6	3 530	1 362	山形
△ 13 297	261	106	155	44	37	7	6 675	2 968	福島
△ 15 534	341	158	183	44	34	10	10 622	4 403	茨城
△ 9 895	262	124	138	44	33	11	7 396	3 037	栃木
△ 11 624	276	132	144	45	36	9	7 042	2 857	群馬
△ 23 428	1 013	448	565	133	107	26	29 259	10 659	埼玉
△ 21 933	835	412	423	161	129	32	24 994	9 187	千葉
△ 21 476	2 078	955	1 123	296	252	44	73 928	20 783	東京
△ 23 726	1 356	573	783	201	158	43	39 641	13 509	神奈川
△ 16 475	239	114	125	41	33	8	7 568	2 637	新潟
△ 6 724	117	53	64	22	17	5	3 720	1 239	富山
△ 5 003	131	65	66	29	25	4	4 335	1 474	石川
△ 3 973	93	50	43	22	11	11	3 029	1 052	福井
△ 4 609	103	66	37	24	17	7	3 182	1 296	山梨
△ 12 562	258	133	125	49	37	12	7 699	2 910	長野
△ 10 627	206	101	105	26	19	7	7 003	2 833	岐阜
△ 19 694	395	196	199	80	62	18	13 846	5 474	静岡
△ 14 879	1 012	533	479	169	133	36	35 389	11 713	愛知
△ 9 575	211	92	119	32	23	9	6 855	2 759	三重
△ 2 599	185	94	91	28	20	8	5 878	2 050	滋賀
△ 10 402	297	147	150	54	48	6	10 196	3 742	京都
△ 29 762	1 247	514	733	150	117	33	40 989	14 833	大阪
△ 21 702	706	363	343	120	101	19	21 964	8 370	兵庫
△ 6 847	158	73	85	26	20	6	4 574	1 830	奈良
△ 6 878	111	45	66	20	18	2	3 527	1 529	和歌山
△ 3 313	88	52	36	13	11	2	2 098	814	鳥取
△ 5 112	91	60	31	24	18	6	2 398	877	島根
△ 8 267	267	121	146	34	28	6	7 852	2 986	岡山
△ 10 636	387	199	188	62	52	10	11 765	4 233	広島
△ 10 274	148	80	68	18	15	3	4 809	1 988	山口
△ 5 365	93	48	45	20	11	9	2 609	1 081	徳島
△ 6 004	124	55	69	24	19	5	3 786	1 498	香川
△ 9 923	193	101	92	27	24	3	4 903	2 001	愛媛
△ 5 913	76	33	43	14	11	3	2 440	1 148	高知
△ 14 305	820	373	447	109	87	22	22 745	8 955	福岡
△ 3 959	116	72	44	25	20	5	3 031	1 235	佐賀
△ 8 464	192	96	96	26	16	10	4 900	1 976	長崎
△ 8 144	282	132	150	33	28	5	6 793	2 797	熊本
△ 6 862	159	91	68	36	30	6	4 407	1 889	大分
△ 6 421	195	99	96	19	17	2	4 147	1 905	宮崎
△ 9 861	278	123	155	34	27	7	6 131	2 521	鹿児島
2 553	323	153	170	53	36	17	7 376	3 411	沖縄
△ 92	5	3	2	1	1	−	・	・	外国
・	6	3	3	−	−	−	・	・	不詳
									(再掲)
△ 8 255	1 521	698	823	203	179	24	57 793	14 872	東京都区部
△ 8 002	296	116	180	33	29	4	9 130	3 691	札幌市
△ 1 321	147	59	88	25	17	8	5 025	1 642	仙台市
△ 1 212	193	94	99	24	20	4	5 999	1 816	さいたま市
△ 3 373	119	63	56	26	20	6	3 959	1 438	千葉市
△ 8 789	559	229	330	88	64	24	16 099	5 383	横浜市
891	258	109	149	41	36	5	8 761	2 215	川崎市
△ 2 107	114	44	70	16	10	6	2 880	1 128	相模原市
△ 3 820	96	49	47	18	16	2	3 100	960	新潟市
△ 3 985	79	38	41	17	12	5	2 735	1 024	静岡市
△ 3 089	91	47	44	19	16	3	3 193	1 113	浜松市
△ 5 561	304	145	159	49	36	13	12 431	3 897	名古屋市
△ 5 611	165	76	89	36	32	4	6 270	2 182	京都市
△ 9 448	442	182	260	44	31	13	16 262	5 219	大阪市
△ 2 894	114	50	64	17	15	2	3 568	1 310	堺市
△ 6 105	214	102	112	39	36	3	6 251	2 407	神戸市
△ 1 159	119	54	65	12	10	2	3 413	1 154	岡山市
△ 1 117	183	92	91	28	23	5	5 581	1 894	広島市
△ 4 797	131	63	68	20	14	6	4 069	1 675	北九州市
491	284	125	159	32	25	7	8 678	2 760	福岡市
△ 989	114	46	68	14	10	4	3 386	1 241	熊本市

第９表　人口動態総覧（率），都道府県（特別区－指定都市再掲）別

都道府県[1]	出生率（人口千対）[3]	死亡率（人口千対）[3]	乳児死亡率（出生千対）	新生児死亡率（出生千対）	自然増減率（人口千対）[3]
全国[2]	6.8	11.1	1.8	0.8	△ 4.3
北海道	5.7	12.6	2.0	0.8	△ 6.9
青森	5.6	14.6	2.6	2.2	△ 9.0
岩手	5.6	14.3	1.2	0.4	△ 8.7
宮城	6.4	10.8	1.9	1.0	△ 4.5
秋田	4.7	16.2	2.0	0.9	△ 11.5
山形	5.9	14.5	2.3	1.4	△ 8.6
福島	6.2	13.5	2.5	1.0	△ 7.3
茨城	6.2	11.8	2.6	0.8	△ 5.6
栃木	6.2	11.5	2.1	1.1	△ 5.2
群馬	6.2	12.4	1.5	0.9	△ 6.2
埼玉	6.6	9.9	1.6	0.7	△ 3.3
千葉	6.5	10.1	2.1	1.0	△ 3.6
東京	7.4	9.0	1.4	0.6	△ 1.6
神奈川	6.8	9.4	1.6	0.8	△ 2.6
新潟	5.9	13.5	1.5	0.8	△ 7.5
富山	6.1	12.8	1.8	0.8	△ 6.6
石川	6.9	11.4	1.7	0.8	△ 4.5
福井	7.1	12.4	4.5	2.6	△ 5.3
山梨	6.5	12.4	2.1	1.4	△ 5.8
長野	6.4	12.7	2.0	1.2	△ 6.3
岐阜	6.3	11.8	1.8	0.8	△ 5.5
静岡	6.4	11.9	2.0	1.0	△ 5.6
愛知	7.6	9.6	1.7	0.9	△ 2.0
三重	6.5	12.0	2.4	1.3	△ 5.6
滋賀	7.6	9.4	1.8	1.1	△ 1.9
京都	6.5	10.7	1.3	0.4	△ 4.1
大阪	7.2	10.6	1.8	0.7	△ 3.5
兵庫	6.9	11.0	1.7	0.7	△ 4.1
奈良	6.0	11.2	1.7	0.8	△ 5.2
和歌山	6.3	13.9	1.4	0.3	△ 7.6
鳥取	6.9	13.0	1.3	0.5	△ 6.1
島根	6.8	14.6	2.7	1.8	△ 7.8
岡山	7.3	11.7	1.5	0.6	△ 4.5
広島	7.1	11.0	1.5	0.7	△ 3.9
山口	6.2	13.9	1.5	0.5	△ 7.7
徳島	6.3	13.8	3.5	2.0	△ 7.5
香川	6.6	13.0	1.5	0.8	△ 6.4
愛媛	6.2	13.7	0.9	0.4	△ 7.5
高知	6.0	14.6	2.7	1.0	△ 8.6
福岡	7.7	10.6	1.8	0.8	△ 2.8
佐賀	7.5	12.4	1.8	1.0	△ 4.9
長崎	7.0	13.5	2.4	1.2	△ 6.5
熊本	7.6	12.3	1.7	0.6	△ 4.7
大分	6.8	13.0	1.7	0.9	△ 6.2
宮崎	7.3	13.4	2.2	0.9	△ 6.1
鹿児島	7.4	13.6	2.1	0.6	△ 6.3
沖縄	10.4	8.6	2.6	1.3	1.8
（再掲）					
東京都区部	…	…	1.3	0.6	…
札幌市	…	…	1.6	0.6	…
仙台市	…	…	1.9	1.0	…
さいたま市	…	…	0.9	0.6	…
千葉市	…	…	2.5	1.3	…
横浜市	…	…	1.7	1.1	…
川崎市	…	…	1.4	0.6	…
相模原市	…	…	1.8	1.3	…
新潟市	…	…	0.8	0.4	…
静岡市	…	…	1.9	1.4	…
浜松市	…	…	2.2	0.7	…
名古屋市	…	…	1.3	0.7	…
京都市	…	…	1.6	0.4	…
大阪市	…	…	2.2	0.9	…
堺市	…	…	1.5	0.5	…
神戸市	…	…	1.9	0.5	…
岡山市	…	…	0.9	0.4	…
広島市	…	…	1.5	0.8	…
北九州市	…	…	2.0	0.9	…
福岡市	…	…	1.9	1.0	…
熊本市	…	…	2.6	1.1	…

注：1）都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。
　　2）全国には住所が外国・不詳を含む。
　　3）人口千対の率算出に用いた人口は、「参考 3 諸率の算出に用いた人口 ②」（51頁）参照。

死産率[4]	自然死産率[4]	人工死産率[4]	周産期死亡率[5]	婚姻率	離婚率	合計特殊[6]出生率	都道府県[1]
	（出産千対）			（人口千対）[3]			
20.1	9.5	10.6	3.2	4.3	1.57	1.34	全国[2]
24.1	10.0	14.0	3.1	4.0	1.75	1.21	北海道
20.8	12.5	8.3	4.7	3.3	1.56	1.33	青森
21.8	13.1	8.7	3.1	3.3	1.39	1.33	岩手
21.0	9.5	11.5	3.9	3.9	1.56	1.21	宮城
21.3	13.7	7.6	4.0	2.8	1.28	1.32	秋田
18.8	10.4	8.4	3.5	3.3	1.29	1.41	山形
22.7	9.2	13.5	3.9	3.7	1.64	1.48	福島
19.2	8.9	10.3	2.5	3.8	1.58	1.38	茨城
21.7	10.3	11.4	3.7	3.9	1.60	1.34	栃木
23.1	11.1	12.1	3.8	3.8	1.53	1.41	群馬
21.0	9.3	11.7	2.8	4.1	1.49	1.26	埼玉
20.4	10.0	10.3	4.0	4.1	1.50	1.28	千葉
20.4	9.4	11.0	3.0	5.5	1.55	1.13	東京
21.8	9.2	12.6	3.3	4.4	1.50	1.25	神奈川
18.1	8.6	9.5	3.2	3.5	1.21	1.35	新潟
18.4	8.3	10.0	3.5	3.7	1.22	1.48	富山
16.7	8.3	8.4	3.7	3.9	1.32	1.48	石川
17.2	9.2	8.0	4.1	4.0	1.40	1.61	福井
19.5	12.5	7.0	4.6	4.0	1.64	1.50	山梨
19.7	10.1	9.5	3.8	3.8	1.45	1.53	長野
16.8	8.2	8.5	2.1	3.6	1.47	1.42	岐阜
17.3	8.6	8.7	3.5	3.9	1.55	1.43	静岡
17.9	9.4	8.5	3.0	4.8	1.60	1.43	愛知
18.6	8.1	10.5	2.9	4.0	1.60	1.45	三重
17.4	8.8	8.6	2.7	4.3	1.48	1.47	滋賀
17.7	8.8	9.0	3.3	4.1	1.49	1.22	京都
19.8	8.1	11.6	2.4	4.8	1.72	1.30	大阪
18.7	9.6	9.1	3.2	4.1	1.57	1.40	兵庫
19.8	9.1	10.6	3.3	3.5	1.40	1.26	奈良
19.0	7.7	11.3	3.5	3.9	1.68	1.49	和歌山
22.7	13.4	9.3	3.4	3.8	1.49	1.59	鳥取
19.9	13.1	6.8	5.3	3.6	1.33	1.69	島根
19.4	8.8	10.6	2.5	4.2	1.61	1.47	岡山
19.4	10.0	9.4	3.2	4.3	1.54	1.49	広島
17.7	9.6	8.1	2.2	3.6	1.50	1.50	山口
20.2	10.4	9.8	4.4	3.6	1.51	1.45	徳島
19.7	8.7	10.9	3.9	4.0	1.60	1.51	香川
23.3	12.2	11.1	3.3	3.7	1.52	1.45	愛媛
18.3	7.9	10.3	3.4	3.6	1.67	1.48	高知
20.6	9.4	11.2	2.8	4.5	1.78	1.43	福岡
19.0	11.8	7.2	4.2	3.8	1.54	1.61	佐賀
20.5	10.2	10.2	2.8	3.8	1.52	1.64	長崎
21.2	9.9	11.3	2.5	3.9	1.63	1.60	熊本
20.5	11.8	8.8	4.7	4.0	1.70	1.57	大分
24.6	12.5	12.1	2.5	3.9	1.80	1.68	宮崎
23.3	10.3	13.0	2.9	3.9	1.60	1.63	鹿児島
21.2	10.0	11.1	3.5	5.1	2.37	1.86	沖縄
							（再掲）
20.5	9.4	11.1	2.8	…	…	…	東京都区部
23.6	9.2	14.3	2.7	…	…	…	札幌市
18.4	7.4	11.0	3.2	…	…	…	仙台市
18.9	9.2	9.7	2.4	…	…	…	さいたま市
19.5	10.3	9.2	4.3	…	…	…	千葉市
22.0	9.0	13.0	3.5	…	…	…	横浜市
20.3	8.6	11.7	3.3	…	…	…	川崎市
24.4	9.4	15.0	3.5	…	…	…	相模原市
18.3	9.3	9.0	3.5	…	…	…	新潟市
18.2	8.8	9.5	4.0	…	…	…	静岡市
16.7	8.6	8.1	3.5	…	…	…	浜松市
17.0	8.1	8.9	2.8	…	…	…	名古屋市
17.5	8.1	9.5	3.9	…	…	…	京都市
21.5	8.8	12.6	2.2	…	…	…	大阪市
19.2	8.4	10.8	2.9	…	…	…	堺市
21.4	10.2	11.2	4.0	…	…	…	神戸市
20.7	9.4	11.3	2.1	…	…	…	岡山市
19.5	9.8	9.7	3.0	…	…	…	広島市
19.9	9.6	10.3	3.1	…	…	…	北九州市
21.3	9.4	11.9	2.4	…	…	…	福岡市
18.3	7.4	10.9	2.3	…	…	…	熊本市

注：4）死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除したものである。
5）周産期死亡率は周産期死亡数を出産数（妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの）で除したものである。
6）分母に用いた人口は、「参考 3 諸率の算出に用いた人口③、④」（51、52頁）参照。

第10表　主な死因の死亡数・死亡率(人口10万対)[4]，都道府県(特別区－指定都市再掲)別

都道府県[2]	全死因		02100 悪性新生物＜腫瘍＞		09200 心疾患(高血圧性を除く)		18100 老衰		09300 脳血管疾患		10200 肺炎	
	死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率
全国[3]	1 372 648	1 113.7	378 356	307.0	205 518	166.7	132 435	107.5	102 956	83.5	78 445	63.6
北海道	65 070	1 257.4	19 779	382.2	9 371	181.1	4 849	93.7	4 668	90.2	3 656	70.6
青森	17 905	1 461.6	4 988	407.2	2 714	221.6	1 606	131.1	1 455	118.8	1 160	94.7
岩手	17 205	1 427.8	4 581	380.2	2 731	226.6	1 740	144.4	1 876	155.7	868	72.0
宮城	24 631	1 083.6	6 844	301.1	3 824	168.2	2 637	116.0	2 275	100.1	1 058	46.5
秋田	15 377	1 620.3	4 136	435.8	2 068	217.9	1 496	157.6	1 467	154.6	895	94.3
山形	15 348	1 452.0	3 890	368.0	2 377	224.9	1 904	180.1	1 439	136.1	792	74.9
福島	24 512	1 353.5	6 258	345.6	3 837	211.9	2 563	141.5	2 164	119.5	1 359	75.0
茨城	32 923	1 178.8	8 933	319.8	4 866	174.2	3 057	109.5	2 939	105.2	2 277	81.5
栃木	21 702	1 145.8	5 789	305.6	3 376	178.2	2 176	114.9	2 003	105.8	1 217	64.3
群馬	23 284	1 243.1	5 950	317.7	3 614	193.0	2 006	107.1	1 791	95.6	1 480	79.0
埼玉	70 755	986.7	20 464	285.4	10 854	151.4	5 841	81.5	4 929	68.7	4 607	64.2
千葉	62 101	1 011.9	17 706	288.5	9 662	157.4	5 758	93.8	4 556	74.2	3 953	64.4
東京	121 137	901.2	34 213	254.5	18 276	136.0	11 644	86.6	8 749	65.1	6 504	48.4
神奈川	84 591	939.9	24 538	272.6	12 546	139.4	9 636	107.1	5 835	64.8	4 098	45.5
新潟	29 455	1 349.3	7 779	356.3	3 982	182.4	3 467	158.8	2 712	124.2	1 301	59.6
富山	12 980	1 275.0	3 555	349.2	1 663	163.4	1 418	139.3	1 088	106.9	732	71.9
石川	12 715	1 138.3	3 623	324.4	1 894	169.6	1 130	101.2	1 013	90.7	691	61.9
福井	9 286	1 239.8	2 336	311.9	1 571	209.7	820	109.5	740	98.8	598	79.8
山梨	9 793	1 236.5	2 433	307.2	1 393	175.9	1 070	135.1	794	100.3	514	64.9
長野	25 426	1 270.7	6 380	318.8	3 680	183.9	3 199	159.9	2 308	115.3	1 181	59.0
岐阜	22 719	1 180.8	6 043	314.1	3 280	170.5	2 562	133.2	1 678	87.2	1 232	64.0
静岡	42 191	1 194.2	10 960	310.2	5 876	166.3	5 782	163.7	3 679	104.1	1 993	56.4
愛知	70 492	965.0	19 819	271.3	8 513	116.5	7 914	108.3	4 829	66.1	3 627	49.7
三重	20 716	1 202.3	5 231	303.6	3 108	180.4	2 714	157.5	1 513	87.8	1 101	63.9
滋賀	13 036	943.3	3 699	267.7	2 003	144.9	1 252	90.6	872	63.1	598	43.3
京都	26 842	1 067.7	7 721	307.1	4 453	177.1	2 435	96.9	1 846	73.4	1 300	51.7
大阪	91 640	1 064.0	26 726	310.3	14 752	171.3	6 239	72.4	5 437	63.1	6 312	73.3
兵庫	58 654	1 098.0	16 632	311.3	9 047	169.4	5 421	101.5	4 159	77.9	3 106	58.1
奈良	14 678	1 121.3	4 262	325.6	2 385	182.2	1 375	105.0	969	74.0	862	65.9
和歌山	12 610	1 388.8	3 296	363.0	2 094	230.6	1 476	162.6	808	89.0	812	89.4
鳥取	7 096	1 297.3	1 879	343.5	888	162.3	933	170.6	592	108.2	353	64.5
島根	9 585	1 456.7	2 413	366.7	1 400	212.8	1 124	170.8	795	120.8	373	56.7
岡山	21 788	1 173.9	5 664	305.2	3 456	186.2	2 056	110.8	1 599	86.2	1 431	77.1
広島	30 242	1 101.3	8 111	295.4	5 036	183.4	2 898	105.5	2 138	77.9	1 569	57.1
山口	18 477	1 392.4	4 726	356.1	3 132	236.0	1 595	120.2	1 423	107.2	1 404	105.8
徳島	9 886	1 382.7	2 446	342.1	1 415	197.9	989	138.3	687	96.1	778	108.8
香川	12 183	1 300.2	3 001	320.3	1 976	210.9	1 477	157.6	824	87.9	503	53.7
愛媛	18 025	1 370.7	4 549	345.9	3 198	243.2	1 953	148.5	1 375	104.6	1 029	78.3
高知	9 995	1 457.0	2 550	371.7	1 672	243.7	856	124.8	760	110.8	692	100.9
福岡	53 272	1 058.2	15 675	311.4	6 457	128.3	3 602	71.6	3 576	71.0	3 292	65.4
佐賀	9 963	1 242.3	2 689	335.3	1 488	185.5	881	109.9	687	85.7	711	88.7
長崎	17 646	1 353.2	4 804	368.4	2 734	209.7	1 321	101.3	1 220	93.6	1 207	92.6
熊本	21 155	1 229.9	5 349	311.0	3 242	188.5	1 993	115.9	1 547	89.9	1 241	72.2
大分	14 444	1 297.8	3 628	326.0	2 207	198.3	1 364	122.6	1 200	107.8	876	78.7
宮崎	14 140	1 337.7	3 563	337.1	2 325	220.0	1 173	111.0	1 161	109.8	992	93.9
鹿児島	21 499	1 364.1	5 357	339.9	3 293	208.9	1 955	124.0	1 726	109.5	1 619	102.7
沖縄	12 390	861.0	3 273	227.4	1 667	115.8	1 057	73.5	977	67.9	461	32.0
外国	120	・	20	・	11	・	－	・	9	・	5	・
(再掲)												
東京都区部	80 876	…	22 905	…	12 174	…	7 654	…	5 784	…	4 100	…
札幌市	20 261	…	6 308	…	2 572	…	1 330	…	1 387	…	1 145	…
仙台市	9 164	…	2 646	…	1 260	…	1 011	…	811	…	353	…
さいたま市	11 217	…	3 140	…	1 509	…	1 228	…	764	…	643	…
千葉市	9 349	…	2 764	…	1 390	…	796	…	688	…	634	…
横浜市	33 617	…	9 670	…	5 093	…	4 116	…	2 225	…	1 493	…
川崎市	11 589	…	3 349	…	1 720	…	1 241	…	763	…	588	…
相模原市	6 670	…	1 925	…	1 026	…	616	…	520	…	348	…
新潟市	8 974	…	2 629	…	1 173	…	871	…	816	…	398	…
静岡市	8 239	…	2 157	…	1 104	…	1 437	…	598	…	366	…
浜松市	8 454	…	2 074	…	1 117	…	1 282	…	828	…	374	…
名古屋市	23 099	…	6 493	…	2 801	…	2 596	…	1 425	…	1 228	…
京都市	14 862	…	4 346	…	2 456	…	1 279	…	1 042	…	701	…
大阪市	29 600	…	8 299	…	4 324	…	1 935	…	1 831	…	2 179	…
堺市	8 721	…	2 635	…	1 262	…	567	…	605	…	681	…
神戸市	15 870	…	4 554	…	2 353	…	1 473	…	971	…	809	…
岡山市	6 786	…	1 865	…	995	…	632	…	484	…	363	…
広島市	10 296	…	2 981	…	1 640	…	895	…	716	…	491	…
北九州市	11 256	…	3 332	…	1 297	…	685	…	790	…	701	…
福岡市	12 588	…	3 878	…	1 432	…	904	…	736	…	695	…
熊本市	7 090	…	1 983	…	1 027	…	686	…	455	…	336	…

注：1)　死因名の上部の数字は死因簡単分類コードである。
　　2)　都道府県別の表章は死亡者の住所による。

10601 誤嚥性肺炎		20100 不慮の事故		14200 腎 不 全		06400 アルツハイマー病		05100 血管性及び詳細不明の認知症		(参考) 20200 自殺		都道府県[2]
死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率	死亡数(人)	死亡率	
42 746	34.7	38 069	30.9	26 946	21.9	20 852	16.9	20 811	16.9	20 222	16.4	全　国[3]
1 352	26.1	1 667	32.2	1 668	32.2	988	19.1	1 052	20.3	880	17.0	北海道
387	31.6	534	43.6	398	32.5	381	31.1	387	31.6	238	19.4	青　森
467	38.8	488	40.5	344	28.5	383	31.8	206	17.1	256	21.2	岩　手
695	30.6	658	28.9	445	19.6	534	23.5	418	18.4	411	18.1	宮　城
415	43.7	438	46.2	302	31.8	342	36.0	302	31.8	171	18.0	秋　田
387	36.6	431	40.8	308	29.1	448	42.4	377	35.7	180	17.0	山　形
584	32.2	762	42.1	457	25.2	470	26.0	439	24.2	355	19.6	福　島
748	26.8	903	32.3	556	19.9	319	11.4	472	16.9	487	17.4	茨　城
502	26.5	542	28.6	371	19.6	336	17.7	433	22.9	328	17.3	栃　木
728	38.9	645	34.4	475	25.4	391	20.9	418	22.3	362	19.3	群　馬
1 789	24.9	1 525	21.3	1 398	19.5	921	12.8	911	12.7	1 159	16.2	埼　玉
1 696	27.6	1 425	23.2	1 065	17.4	624	10.2	807	13.1	1 049	17.1	千　葉
3 464	25.8	3 082	22.9	2 077	15.5	1 625	12.1	1 781	13.2	2 008	14.9	東　京
2 703	30.0	2 647	29.4	1 406	15.6	1 173	13.0	1 220	13.6	1 402	15.6	神奈川
755	34.6	850	38.9	517	23.7	1 016	46.5	719	32.9	413	18.9	新　潟
388	38.1	472	46.4	228	22.4	279	27.4	249	24.5	193	19.0	富　山
452	40.5	370	33.1	215	19.2	236	21.1	210	18.8	167	15.0	石　川
413	55.1	319	42.6	199	26.6	188	25.1	135	18.0	122	16.3	福　井
287	36.2	348	43.9	205	25.9	174	22.0	151	19.1	129	16.3	山　梨
745	37.2	782	39.1	375	18.7	401	20.0	582	29.1	352	17.6	長　野
953	49.5	786	40.9	444	23.1	333	17.3	305	15.9	291	15.1	岐　阜
1 258	35.6	1 214	34.4	818	23.2	486	13.8	670	19.0	583	16.5	静　岡
2 663	36.5	2 006	27.5	1 226	16.8	796	10.9	879	12.0	1 112	15.2	愛　知
621	36.0	579	33.6	453	26.3	260	15.1	330	19.2	269	15.6	三　重
469	33.9	427	30.9	280	20.3	266	19.2	216	15.6	224	16.2	滋　賀
1 006	40.0	523	20.8	539	21.4	406	16.1	409	16.3	347	13.8	京　都
3 468	40.3	2 338	27.1	2 024	23.5	833	9.7	1 219	14.2	1 515	17.6	大　阪
1 838	34.4	1 684	31.5	1 244	23.3	809	15.1	922	17.3	846	15.8	兵　庫
546	41.7	358	27.3	277	21.2	145	11.1	210	16.0	201	15.4	奈　良
440	48.5	357	39.3	288	31.7	109	12.0	100	11.0	151	16.6	和歌山
187	34.2	215	39.3	117	21.4	147	26.9	115	21.0	80	14.6	鳥　取
332	50.5	234	35.6	183	27.8	249	37.8	217	33.0	124	18.8	島　根
862	46.4	639	34.4	423	22.8	395	21.3	300	16.2	257	13.8	岡　山
964	35.1	824	30.0	664	24.2	438	16.0	593	21.6	400	14.6	広　島
433	32.6	475	35.8	424	32.0	337	25.4	218	16.4	225	17.0	山　口
358	50.1	291	40.7	233	32.6	94	13.1	137	19.2	110	15.4	徳　島
733	78.2	346	36.9	252	26.9	201	21.5	132	14.1	149	15.9	香　川
563	42.8	575	43.7	332	25.2	298	22.7	194	14.8	220	16.7	愛　媛
276	40.2	341	49.7	254	37.0	156	22.7	99	14.4	119	17.3	高　知
2 010	39.9	1 649	32.8	1 024	20.3	926	18.4	811	16.1	826	16.4	福　岡
353	44.0	301	37.5	198	24.7	168	20.9	103	12.8	108	13.5	佐　賀
611	46.9	532	40.8	376	28.8	295	22.6	262	20.1	183	14.0	長　崎
918	53.4	702	40.8	476	27.7	360	20.9	292	17.0	282	16.4	熊　本
483	43.4	461	41.4	338	30.4	297	26.7	277	24.9	174	15.6	大　分
397	37.6	426	40.3	305	28.9	283	26.8	193	18.3	217	20.5	宮　崎
654	41.5	621	39.4	471	29.9	377	23.9	207	13.1	270	17.1	鹿児島
382	26.5	231	16.1	272	18.9	153	10.6	126	8.8	201	14.0	沖　縄
1	・	7	・	1	・	1	・	2	・	6	・	外　国
												(再　掲)
2 330	…	2 120	…	1 409	…	1 051	…	1 129	…	1 367	…	東京都区部
364	…	470	…	485	…	333	…	350	…	312	…	札幌市
269	…	227	…	154	…	208	…	134	…	194	…	仙台市
331	…	238	…	221	…	170	…	148	…	192	…	さいたま市
267	…	193	…	146	…	96	…	97	…	154	…	千葉市
1 103	…	1 072	…	557	…	466	…	468	…	550	…	横浜市
377	…	391	…	171	…	126	…	145	…	228	…	川崎市
223	…	193	…	128	…	92	…	99	…	128	…	相模原市
262	…	228	…	178	…	267	…	191	…	116	…	新潟市
263	…	248	…	136	…	48	…	71	…	99	…	静岡市
289	…	245	…	186	…	127	…	159	…	105	…	浜松市
898	…	582	…	397	…	259	…	303	…	361	…	名古屋市
552	…	281	…	297	…	244	…	225	…	189	…	京都市
1 184	…	815	…	664	…	229	…	338	…	532	…	大阪市
394	…	215	…	198	…	62	…	82	…	143	…	堺　市
546	…	455	…	335	…	236	…	282	…	237	…	神戸市
268	…	185	…	122	…	149	…	95	…	91	…	岡山市
332	…	237	…	218	…	116	…	176	…	167	…	広島市
461	…	327	…	204	…	198	…	198	…	147	…	北九州市
457	…	411	…	233	…	221	…	195	…	256	…	福岡市
340	…	200	…	153	…	105	…	95	…	118	…	熊本市

注：3)　全国値には、住所地不詳を含む。
　　4)　人口10万対の率算出に用いた人口は、「参考　3　諸率の算出に用いた人口　②」（51頁）参照。

参　　考

1　合計特殊出生率について

（1）　期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

○　合計特殊出生率は「15～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、次の２つの種類があり、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

A　期間合計特殊出生率

ある期間（１年間）の出生状況に着目したもので、その年における各年齢（15～49 歳）の女性の出生率を合計したもの。

女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の合計特殊出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。

B　コーホート合計特殊出生率

ある世代の出生状況に着目したもので、同一世代生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49 歳）の出生率を過去から積み上げたもの。

「その世代の合計特殊出生率」である。

○　実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はＢのコーホート合計特殊出生率であるが、この値はその世代が 50 歳に到達するまで得られないため、それに相当するものとしてＡの期間合計特殊出生率が一般に用いられている。

なお、各年齢別の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になる。

○　ただし、晩婚化・晩産化が進行している状況等、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なる場合には、別々の世代の年齢別出生率の合計であるＡの期間合計特殊出生率は、同一世代の年齢別出生率の合計であるＢのコーホート合計特殊出生率の値と異なることに注意が必要である。

（2）　令和２年における状況

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が 50 歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、５歳階級ごとに１つの世代とみて、５年ごとの出生率を合計し、算出した*)。

例えば 1981～1985 年生まれ（令和２年における 35～39 歳の世代）の 39 歳までのコーホート合計特殊出生率は 1.44 であり、令和２年の期間合計特殊出生率（1.34）を上回っている。

*）各年の各年齢別出生率を合計したより精密なコーホート合計特殊出生率は国立社会保障・人口問題研究所で算出されている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

母の年齢	平成2年 (1990)	7年 (1995)	12年 (2000)	17年 (2005)	22年 (2010)	27年 (2015)	令和2年 (2020)
	1.54	1.42	1.36	1.26	1.39	1.45	1.34
15～19歳	0.0180	0.0185	0.0269	0.0253	0.0232	0.0206	0.0124
20～24	0.2357	0.2022	0.1965	0.1823	0.1781	0.1475	0.1149
25～29	0.7031	0.5880	0.4967	0.4228	0.4356	0.4215	0.3803
30～34	0.4663	0.4677	0.4620	0.4285	0.4789	0.5173	0.4942
35～39	0.1079	0.1311	0.1572	0.1761	0.2318	0.2864	0.2797
40～44	0.0113	0.0148	0.0194	0.0242	0.0387	0.0557	0.0613
45～49	0.0003	0.0004	0.0005	0.0008	0.0010	0.0015	0.0018

② 各世代（コーホート）別にみた母の年齢階級別出生率（ごく粗い計算）

母の年齢	昭和46～50年生まれ (1971-1975) 45～49歳の世代	昭和51～55年生まれ (1976-1980) 40～44歳の世代	昭和56～60年生まれ (1981-1985) 35～39歳の世代	昭和61～平成2年生まれ (1986-1990) 30～34歳の世代	平成3～7年生まれ (1991-1995) 25～29歳の世代	平成8～12年生まれ (1996-2000) 20～24歳の世代	平成13～17年生まれ (2001-2005) 15～19歳の世代
15～19歳	0.0180	0.0185	0.0269	0.0253	0.0232	0.0206	0.0124
20～24	0.2022	0.1965	0.1823	0.1781	0.1475	0.1149	
25～29	0.4967	0.4228	0.4356	0.4215	0.3803		
30～34	0.4285	0.4789	0.5173	0.4942			
35～39	0.2318	0.2864	0.2797				
40～44	0.0557	0.0613					
45～49	0.0018						
コーホート合計特殊出生率	1.43	1.46	1.44	1.12	0.55	0.14	0.01

③ コーホート合計特殊出生率（母の到達年齢別）（ごく粗い計算）

母の年齢	昭和46～50年生まれ (1971-1975) 45～49歳の世代	昭和51～55年生まれ (1976-1980) 40～44歳の世代	昭和56～60年生まれ (1981-1985) 35～39歳の世代	昭和61～平成2年生まれ (1986-1990) 30～34歳の世代	平成3～7年生まれ (1991-1995) 25～29歳の世代	平成8～12年生まれ (1996-2000) 20～24歳の世代	平成13～17年生まれ (2001-2005) 15～19歳の世代
15～19歳	0.02	0.02	0.03	0.03	0.02	0.02	0.01
15～24	0.22	0.22	0.21	0.20	0.17	0.14	
15～29	0.72	0.64	0.64	0.62	0.55		
15～34	1.15	1.12	1.16	1.12			
15～39	1.38	1.40	1.44				
15～44	1.43	1.46					
15～49	1.43						

2　人口動態総覧（率）の国際比較

国名	出生率（人口千対）	死亡率（人口千対）	乳児死亡率（出生千対）	婚姻率（人口千対）	離婚率（人口千対）	合計特殊出生率
日本	2020) *6.8	'20) *11.1	'20) *1.8	'20) * 4.3	'20) *1.57	'20) 1.34
韓国	'19) 5.9	'19) 5.7	'19) 2.7	'20) 4.2	'20) 2.1	'19) 0.92
シンガポール	'20) 8.5	'20) 5.2	'20) 1.8	'19) 5.9	'19) 1.9	'20) 1.1
アメリカ	'19) 11.4	'19) 8.7	'19) 5.6	'19) 6.1	'19) *2.7	'19) 1.71
フランス	'18) 11.1	'18) 9.2	'18) 3.6	'18) *3.5	'16) 1.93	'19) *1.86
ドイツ	'19) 9.4	'19) 11.3	'18) 3.2	'18) 5.4	'18) 1.79	'19) 1.54
イタリア	'18) 7.3	'18) 10.5	'18) 2.8	'18) 3.2	'18) 1.46	'19) 1.27
スウェーデン	'18) 11.4	'18) 9.1	'18) 2.0	'18) 5.0	'18) 2.47	'19) 1.71
イギリス	'19) 10.7	'19) 9.0	'18) 3.9	'16) 4.4	'17) 1.68	'18) 1.68

注： *印は暫定値である。

資料：(1) 韓国は、大韓民国統計庁（Statistics Korea）資料
(2) シンガポールは、シンガポール統計局（Department of Statistics Singapore）資料
(3) アメリカは、アメリカ全国保健統計センター（National Center for Health Statistics）資料
(4) 欧州各国は、国連統計部（UNSD），Demographic Yearbook 2019
ただし、合計特殊出生率のみ欧州連合統計局（Eurostat）資料

3　諸率の算出に用いた人口

①　年齢５歳階級・男女別（日本人人口）

年齢階級	令和２年(2020) 総数	男	女	令和元年(2019) 総数
	人	人	人	人
総数	123 250 274	59 935 774	63 314 500	123 731 176
0 ～ 4歳	4 585 589	2 351 095	2 234 494	4 678 534
5 ～ 9	4 945 270	2 529 357	2 415 913	5 030 788
10 ～ 14	5 278 835	2 704 164	2 574 671	5 293 741
15 ～ 19	5 584 847	2 860 083	2 724 764	5 706 558
20 ～ 24	5 977 294	3 070 983	2 906 311	5 960 242
25 ～ 29	5 884 253	3 013 861	2 870 392	5 862 140
30 ～ 34	6 279 494	3 200 538	3 078 956	6 474 878
35 ～ 39	7 168 454	3 639 645	3 528 809	7 328 763
40 ～ 44	8 211 813	4 170 607	4 041 206	8 540 311
45 ～ 49	9 634 158	4 885 035	4 749 123	9 640 216
50 ～ 54	8 537 067	4 309 744	4 227 323	8 429 352
55 ～ 59	7 788 401	3 901 084	3 887 317	7 606 165
60 ～ 64	7 348 173	3 632 482	3 715 691	7 450 572
65 ～ 69	8 188 090	3 972 028	4 216 062	8 653 715
70 ～ 74	9 178 411	4 332 477	4 845 934	8 644 616
75 ～ 79	7 074 097	3 161 595	3 912 502	7 211 769
80 ～ 84	5 403 858	2 244 185	3 159 673	5 310 386
85 ～ 89	3 741 380	1 335 629	2 405 751	3 602 984
90 ～ 94	1 837 901	511 899	1 326 002	1 758 000
95 ～ 99	526 410	99 425	426 985	478 000
100歳以上	76 479	9 858	66 621	69 000

資料：令和元年は「人口推計（令和元年10月１日現在）」（総務省統計局）
令和２年は、総務省統計局の資料に基づき、10月１日現在の人口を厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室で推計。

② 都道府県・男女別人口（日本人人口）

都道府県	総　数	男	女
	人	人	人
全　国	123 250 274	59 935 774	63 314 500
北海道	5 175 000	2 439 000	2 736 000
青　森	1 225 000	576 000	649 000
岩　手	1 205 000	582 000	623 000
宮　城	2 273 000	1 111 000	1 162 000
秋　田	949 000	447 000	502 000
山　形	1 057 000	512 000	546 000
福　島	1 811 000	898 000	913 000
茨　城	2 793 000	1 393 000	1 400 000
栃　木	1 894 000	945 000	949 000
群　馬	1 873 000	925 000	948 000
埼　玉	7 171 000	3 569 000	3 603 000
千　葉	6 137 000	3 045 000	3 092 000
東　京	13 442 000	6 596 000	6 846 000
神奈川	9 000 000	4 478 000	4 522 000
新　潟	2 183 000	1 060 000	1 123 000
富　山	1 018 000	495 000	524 000
石　川	1 117 000	541 000	575 000
福　井	749 000	365 000	384 000
山　梨	792 000	388 000	404 000
長　野	2 001 000	978 000	1 023 000
岐　阜	1 924 000	934 000	990 000
静　岡	3 533 000	1 742 000	1 792 000
愛　知	7 305 000	3 650 000	3 655 000
三　重	1 723 000	840 000	883 000
滋　賀	1 382 000	681 000	701 000
京　都	2 514 000	1 199 000	1 315 000
大　阪	8 613 000	4 126 000	4 487 000
兵　庫	5 342 000	2 541 000	2 801 000
奈　良	1 309 000	615 000	694 000
和歌山	908 000	428 000	481 000
鳥　取	547 000	262 000	285 000
島　根	658 000	318 000	340 000
岡　山	1 856 000	892 000	963 000
広　島	2 746 000	1 332 000	1 415 000
山　口	1 327 000	630 000	697 000
徳　島	715 000	342 000	373 000
香　川	937 000	454 000	483 000
愛　媛	1 315 000	622 000	693 000
高　知	686 000	323 000	362 000
福　岡	5 034 000	2 379 000	2 656 000
佐　賀	802 000	380 000	422 000
長　崎	1 304 000	614 000	690 000
熊　本	1 720 000	813 000	906 000
大　分	1 113 000	528 000	585 000
宮　崎	1 057 000	498 000	559 000
鹿児島	1 576 000	743 000	833 000
沖　縄	1 439 000	706 000	732 000

資料：総務省統計局の資料に基づき、10月１日現在の人口を厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室で推計。

③ 年齢各歳別人口（日本人女性人口）

年 齢	令和２年 (2020)	令和元年 (2019)	対前年増減
	人	人	人
15歳	516 540	535 495	△ 18 955
16	536 011	542 766	△ 6 755
17	543 598	558 992	△ 15 394
18	560 292	566 776	△ 6 484
19	568 323	575 102	△ 6 779
20	579 258	574 380	4 878
21	579 968	582 390	△ 2 422
22	586 954	581 821	5 133
23	583 944	574 894	9 050
24	576 187	583 687	△ 7 500
25	584 397	578 179	6 218
26	579 042	564 430	14 612
27	565 439	570 868	△ 5 429
28	571 682	568 992	2 690
29	569 832	579 822	△ 9 990
30	580 456	595 378	△ 14 922
31	596 063	616 126	△ 20 063
32	616 882	635 777	△ 18 895
33	636 379	648 893	△ 12 514
34	649 176	678 645	△ 29 469
35	678 948	702 650	△ 23 702
36	702 842	711 623	△ 8 781
37	711 750	712 605	△ 855
38	712 735	722 531	△ 9 796
39	722 534	755 166	△ 32 632
40	755 282	775 179	△ 19 897
41	775 142	808 308	△ 33 166
42	808 148	831 190	△ 23 042
43	831 011	872 100	△ 41 089
44	871 623	912 333	△ 40 710
45	911 903	962 119	△ 50 216
46	961 180	982 284	△ 21 104
47	981 302	960 857	20 445
48	959 625	936 420	23 205
49	935 113	906 967	28 146
15～49歳計	23 899 561	24 265 745	△ 366 184

資料：令和元年は「人口推計（各年10月1日現在）」（総務省統計局）
令和２年は、総務省統計局の資料に基づき、10月１日現在の人口を厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室で推計。

④　都道府県別・５歳階級別人口（日本人女性人口）

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
	人	人	人	人	人	人	人
全　国	2 724 764	2 906 311	2 870 392	3 078 956	3 528 809	4 041 206	4 749 123
北海道	107 000	107 000	108 000	121 000	144 000	169 000	196 000
青　森	26 000	21 000	22 000	26 000	32 000	37 000	43 000
岩　手	26 000	21 000	22 000	26 000	31 000	36 000	40 000
宮　城	50 000	54 000	55 000	59 000	68 000	76 000	82 000
秋　田	18 000	14 000	13 000	18 000	23 000	28 000	31 000
山　形	24 000	19 000	18 000	23 000	28 000	32 000	34 000
福　島	41 000	33 000	31 000	41 000	47 000	54 000	59 000
茨　城	64 000	59 000	54 000	63 000	76 000	88 000	103 000
栃　木	44 000	38 000	37 000	45 000	54 000	62 000	70 000
群　馬	44 000	40 000	36 000	41 000	49 000	59 000	71 000
埼　玉	158 000	183 000	180 000	180 000	205 000	236 000	288 000
千　葉	135 000	151 000	145 000	152 000	175 000	202 000	244 000
東　京	254 000	392 000	445 000	427 000	460 000	496 000	561 000
神奈川	197 000	239 000	234 000	230 000	264 000	307 000	373 000
新　潟	47 000	41 000	41 000	49 000	57 000	68 000	76 000
富　山	23 000	20 000	17 000	22 000	25 000	31 000	39 000
石　川	26 000	25 000	23 000	26 000	30 000	36 000	43 000
福　井	18 000	15 000	14 000	17 000	19 000	23 000	27 000
山　梨	18 000	17 000	15 000	17 000	20 000	23 000	28 000
長　野	47 000	38 000	34 000	43 000	51 000	62 000	73 000
岐　阜	46 000	43 000	37 000	42 000	50 000	59 000	72 000
静　岡	80 000	70 000	65 000	82 000	95 000	109 000	132 000
愛　知	170 000	185 000	184 000	191 000	212 000	240 000	290 000
三　重	40 000	37 000	33 000	39 000	45 000	53 000	65 000
滋　賀	34 000	33 000	32 000	35 000	40 000	47 000	54 000
京　都	56 000	68 000	68 000	63 000	71 000	82 000	100 000
大　阪	193 000	235 000	233 000	231 000	251 000	290 000	360 000
兵　庫	123 000	129 000	119 000	128 000	150 000	177 000	217 000
奈　良	31 000	32 000	28 000	30 000	35 000	41 000	51 000
和歌山	20 000	18 000	16 000	20 000	23 000	27 000	34 000
鳥　取	12 000	10 000	10 000	12 000	15 000	17 000	19 000
島　根	15 000	11 000	11 000	14 000	16 000	19 000	21 000
岡　山	43 000	44 000	43 000	45 000	51 000	58 000	69 000
広　島	63 000	61 000	59 000	66 000	75 000	88 000	107 000
山　口	29 000	25 000	23 000	28 000	34 000	40 000	47 000
徳　島	15 000	14 000	13 000	16 000	19 000	22 000	26 000
香　川	21 000	19 000	17 000	21 000	25 000	30 000	35 000
愛　媛	29 000	25 000	23 000	29 000	35 000	41 000	48 000
高　知	15 000	12 000	11 000	14 000	18 000	21 000	25 000
福　岡	114 000	129 000	125 000	133 000	155 000	173 000	190 000
佐　賀	19 000	17 000	16 000	19 000	23 000	25 000	27 000
長　崎	29 000	24 000	24 000	29 000	34 000	39 000	44 000
熊　本	39 000	35 000	35 000	42 000	49 000	54 000	57 000
大　分	24 000	21 000	20 000	25 000	30 000	35 000	39 000
宮　崎	24 000	19 000	19 000	24 000	30 000	33 000	36 000
鹿児島	35 000	29 000	30 000	37 000	45 000	49 000	51 000
沖　縄	38 000	35 000	36 000	41 000	46 000	49 000	52 000

資料：総務省統計局の資料に基づき、10月１日現在の人口を厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室で推計。

（付表）
年齢調整死亡率の算出に用いた人口
基準人口（昭和60年モデル人口）

年齢階級	基準人口	年齢階級	基準人口
	人		人
0 ～ 4歳	8 180 000	50 ～ 54歳	7 616 000
5 ～ 9	8 338 000	55 ～ 59	6 581 000
10 ～ 14	8 497 000	60 ～ 64	5 546 000
15 ～ 19	8 655 000	65 ～ 69	4 511 000
20 ～ 24	8 814 000	70 ～ 74	3 476 000
25 ～ 29	8 972 000	75 ～ 79	2 441 000
30 ～ 34	9 130 000	80 ～ 84	1 406 000
35 ～ 39	9 289 000	85歳以上	784 000
40 ～ 44	9 400 000		
45 ～ 49	8 651 000	総　数	120 287 000

○本冊子は、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に基づく
基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。
○リサイクル適正の表示：紙へリサイクル可
本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、
印刷用の紙へのリサイクルに適した材料［Ａランク］のみを用いて作製しています。